

3. 堀ノ内東保育園

堀ノ内東
保育園

[ver.2]

調査対象

平成29年10月の配布時点で利用している在園児95名の保護者78世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数	95
利用者家族総数(世帯)	78
共通評価項目による調査対象者数	78
共通評価項目による調査の有効回答者数	61
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	78.2

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」1名(1%)、「母」52名(85%)、「父母一緒に」4名(7%)、無記入4名(7%)。
 ・総合的な感想は「大変満足」27名(44%)、「満足」24名(39%)、「どちらともいえない」8名(13%)、「不満」1名(2%)、無記入1名(2%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の83%で、当園の保育に関して高い満足を得ている。
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心の持てる活動」であった。
 ・総合的な感想では、「園児100名近くの規模にもかかわらず家庭的でいつも明るく丁寧に対応してくれている」「父母会との定期会やイベント開催、英語や体操教室など、公設民営だからこその感覚や取り組みに満足している」「新しいことを取り入れていこうとする改革心も見え、現状維持に留まらない姿勢にも好感が持てる」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	57	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、子どもの心身の発達に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「毎月の制作活動や、家では経験できないことをたくさんやってもらっている」などのコメントが記入されていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	57	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、子どもが興味や関心を持つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「子どもが英語や体操を家でも積極的にやるようになった」「体操や英語などの取り組みも子どもたちは楽しみにしており、興味や経験も増えている」「いつも制作などが手の凝ったもので、年齢に合った興味を持てるものを考えてくれる」などのコメントが記入されていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	52	8	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、食事に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「家では残す野菜を、園でみんなと一緒に食べているようで安心している」「お誕生会のデコレーション給食を毎回楽しみにしている」などのコメントが記入されていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	49	11	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方からは「杉並区は公園がとても多く、保育園の近くにも小さい公園があるため、園外の散歩を多くしてほしい」などのコメントが記入されていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	52	6	0	3
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、保育時間の変更への対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「スポット保育があり、助かっている」などのコメント記入がされていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	36	21	2	2
「はい」と返答された方々は回答者の59%、「どちらともいえない」35%、「いいえ」3%、非該当3%であった。「いいえ」と返答された方からは「門の施錠方法をもっと安全なものにして欲しい」などのコメントが記入されていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	42	13	4	2
「はい」と返答した方々は回答者の69%で、行事日程の設定に関して高い満足を得ている。「どちらともいえない」と返答した方からは「延期日程の見直しを慎重に行なうべきと思う」などのコメントが記入されていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	42	13	5	1
「はい」と返答された方々は回答者の69%、「どちらともいえない」21%、「いいえ」8%、無記入2%であった。「はい」と返答された方からは「先生方の仕事量から考えると、ゆっくり話しをしたり相談するのも控え気味になってしまうが、どの先生もできる限り話を聞いてくれる姿勢もあり信頼している」などのコメントが記入されていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	49	9	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「いつも丁寧に清掃している姿があり、気持ちが良い」などのコメントが記入されていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	49	9	3	0
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「先生一人ひとり性格も違い個性もあるので、それを踏まえて考えても、適切だと思う」などのコメントが記入されていた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	51	6	2	2
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「看護師さんにその都度対応してもらい安心できる」などのコメントが記入されていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	36	16	3	6
「はい」と返答された方々は回答者の59%、「どちらともいえない」26%、「いいえ」5%、無記入10%であった。「はい」と返答した方からは「(子どもがケンカしたときは)送迎時に説明を受けるので信頼できる」、「わからない」(非該当)と返答された方からは「今まで経験がないので、わからない」などのコメントが記入されていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	42	14	3	2
「はい」と返答された方々は回答者の68%、「どちらともいえない」23%、「いいえ」5%、無記入4%であった。「はい」と返答された方からは「失敗やイヤイヤにも、寄り添って対応してくれている」「たくさんの園児がいる中、園児一人ひとりをきちんと考えて対応してくれている」などのコメントが記入されていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	44	11	1	5
「はい」と返答した方々は回答者の72%で、プライバシー保護に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「プール使用時など、外から見えないよう工夫がされている」などのコメントが記入されていた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	40	19	1	1
「はい」と返答された方々は回答者の65%、「どちらともいえない」31%、「いいえ」2%、無記入2%であった。「はい」と返答された方からは「連絡ノートその他、写真での報告がよい」「時間のない中、要点をつかみ丁寧に説明してくれている」などのコメントが記入されていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	39	14	3	5
「はい」と返答された方々は回答者の63%、「どちらともいえない」23%、「いいえ」5%、非該当・無記入9%であった。「はい」と返答された方からは「夏場、蚊がたくさんいたことを伝えたら、すぐ対応してくれた」などのコメントが記入されていた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	16	19	7	19
「はい」と返答された方々は回答者の26%、「どちらともいえない」31%、「いいえ」11%、非該当・無記入32%であった。「どちらともいえない」と返答された方からは「職員以外の人と相談するほどの困ったことがまだない」などのコメントが記入されていた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(0000)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(00)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(000)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当

カテゴリー1の講評

保育目標・保育方針とともに、目指している保育園像を明示している

「保育所保育指針」や「杉並区保育園保育実践方針」に基づき適切な保育を実践することを、重要事項説明書に明記している。また、「入園のしおり」には、「保育目標」「保育指針」に加えて、目指している保育園像を具体的に明記している。園として最も大切にしていることは「自分を愛せる子—ありのままの自分を出せる—」であり、入園前および入園時の説明会で保護者に伝えて理解いただけるように努めている。「保育目標」と「保育指針」は、事務室に掲示しており、職員が心にとめて保育にあたることを大切にしている。

園のサポートのため、法人傘下の保育園を統括するエリアマネージャーを配置している

園運営のサポートのため、法人では傘下の保育園を統括するエリアマネージャーを配置している。現場の問題や課題は園長に集約し、エリアマネージャーと共に解決策や改善案を検討している。エリアマネージャーは法人の子育て支援部に所属しており、園で生じた問題や保護者対応は、現場だけに任せるのではなく、法人組織として対応にあたっている。月1回、関東地区の園長と法人代表などが参加する園長会議を開催し、他園での好事例や事故報告を共有し協議することで、園の運営能力の強化に努めている。

園全体に関わる重要事項については、全体職員会議やクラスリーダー会議で検討している

月末・月初の職員会議、毎日の昼礼ミーティング、月1回のクラス会議など定期的に会議を行うことで、職員間の情報共有を密に行っている。職員会議では、園長会議での協議内容を共有している。園全体に関わる重要事項については、職員会議に加えクラスリーダー会議でも検討を行うこととしている。子どもに関する事項は、保護者代表2名も参加して開催される年2回の運営委員会で協議し決定しているほか、園日より「はなばたけ」を毎月保護者に配布し、周知を図っている。

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

コンプライアンス関係の規定を整備しており、事務所にファイルを設置している

法人として、企業の社会的責任と法令違反の可能性排除を目的として、コンプライアンス経営を推進している。コンプライアンス経営は職員にも浸透を図り、日々意識を持って業務に取り組むことを求めている。そのために、遵守すべき判断基準・行動基準を具体的に示す「行動基準」を定め、内部研修を実施し職員の意識向上に努めている。さらに、ハラスメント防止規程、個人情報保護規程などコンプライアンス関係の規程類の整備を進めている。規程類は職員がいつでも閲覧できるよう、事務所にファイルを設置している。

隣接する児童館において、保育士が子育てに関するセミナーを行っている

園に隣接して児童館が設置されており、雨天時には遊戯室を使用させていただくなど、良好な協力関係を構築している。連携の一環として、児童館において、保育士が地域の子育て中の母親を対象に、トイレトレーニングや離乳食など関心の高いテーマを設定し、子育てセミナーを年3～4回開催している。毎回20～30組の親子が参加しており、参加者から好評を得ている。また、保育士養成専門学校から実習生を受け入れているほか、近隣の中学校から職場体験で生徒を受け入れており、園を学びの場としても活用している。

区の私立保育園連盟の園長会に参加し、区民の交流イベントのブース出展に参画している

区内の私立保育園によって構成される私立保育園連盟に加盟しており、園長会への参加を通じて意見交換や連携強化を図っている。年1回開催されている区民の交流イベント「杉並フェスタ」では、私立保育園連盟のブース出展に園からも参画している。イベントでは紹介パンフレットの配布や保育内容の説明などを通じ、園を知っていただく機会として活用している。また、他の園のスタッフとともにブース内には遊び・工作コーナーを設け、子どもたちが立ち寄り、紙パックを使った工作などを体験する機会を提供している。

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
<p>苦情解決制度については、重要事項説明書に明記し入園時に説明している</p> <p>苦情解決制度については、重要事項説明書および入園のしおりで明記しており、入園時の説明会で保護者に周知している。要望・苦情は園長・主任を受付担当者に任命しているほか、法人本部に相談専用窓口を設け、ホットラインを開設している。また、園や法人に直接相談しづらい内容については、第三者委員にも相談が可能である。第三者委員は地域の児童民生委員を任命している。第三者委員は、運営委員会など保護者と園との間で直接対話する機会にも参加し、中立的な立場から助言をいただいている。</p> <p>保護者満足度調査や運営委員会を実施し、利用者意向の把握に努めている</p> <p>毎年度、保護者満足度調査を実施している。保護者満足度調査は無記名により実施しており、職員の保育・保護者対応に関する満足度や改善してほしいことなど、具体的に把握するように努めている。満足度や要望・意見を取りまとめ、保護者代表が参加する運営委員会で集計結果を配布している。運営委員会は年2回開催しており、保護者代表が事前に父母会の要望・意見を取りまとめて園に伝えている。また、正面玄関の入り口に意見箱を設置している。意見箱への投函よりも、要望・意見は直接職員へなされる場合がほとんどである。</p> <p>保護者からの要望は、法人本部と協議し、具体的な改善につなげている</p> <p>保護者から寄せられた要望は、園だけでなく、エリアマネージャーを始めとした本部スタッフと協議して対応している。個々の要望は、保護者に意向を確認したのち、丁寧に園としての方針・考え方を説明し納得いただくように努めている。今年度に保護者からの要望を実現した例としては、送迎者の登録方法の見直しがある。送迎者の写真を事前にいただき、送迎者登録票を作成し、登録者のみ引き渡しカードを配布することで、確実かつ安全な引き渡し方法に改善した。</p>		

カテゴリ-4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ-1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ4の講評

法人の中長期事業計画を踏まえ、年度事業計画を園長を中心に策定している

法人の策定した中長期計画を踏まえ、園長を中心に年度事業計画を策定している。事業計画の策定に際しては、個々の職員が実施する自己評価の結果を参考に、保育運営や人材育成などの運営に関する課題を抽出し、次年度の事業計画に反映している。今年度の課題として、①新人保育士の育成、②主任・リーダー会議の充実、③保育士書類記入時間の確保の3点を取り上げている。園長の役割は、「園長としての心構え」というペーパーで定めており、運営方針、保育方針を明確に伝え、共通の認識を持つように指導することを明示している。

事業計画に加え、保健・給食・食育・行事などの個別年間計画を策定している

業務種別ごとの個別年間計画を作成し、各活動における主任・リーダー・担当者は業務分担表で明示している。主任・リーダーを中心に、「調理保育年間計画」「給食年間目標」「食育年間指導計画」「年間保育計画」など活動別に目標設定と実施計画を策定している。また、年間行事予定に基づいて、各行事の実施前には「行事計画書」を作成し、想定されるリスクなどを十分に検討し、安全を確認したうえで実施している。実施後は「行事報告書」を作成するとともに反省会を行い、次回以降の改善に活かすように努めている。

避難訓練年間計画を策定し、様々な状況を想定した訓練を実施している

火災や地震を想定した「避難訓練年間計画」を策定しており、発生場所・時間を毎回変更して毎月訓練を実施している。訓練は「災害時の発生に備え、子どもが自分で安全に行動できる能力を養う」ことを目標としており、実施後は振り返りを行い反省点を確認している。年1回は避難訓練に加えて、引き取り訓練を実施している。年2回は隣接する都営住宅と児童館と合同での防災訓練を実施している。不審者対策として、杉並区パトロールの防犯担当が来園し、職員に対して「さすまた」を実際に使用した訓練を実施している。

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを越えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>考課シートで職員自ら目標を定めて、達成に向けて主体的に取り組んでいる</p> <p>年度当初に職員自ら目標を設定し「考課シート」に記入している。中間・期末の年2回、設定した目標の達成度合いの自己評価と、100のチェック項目からなる「自己評価チェックシート100」を使って自己点検も行っている。園長とエリアマネージャーは「考課シート」を用いて面談したうえで、評価をしている。評価結果に加えて、経験・勤務年数、能力評価、勤務態度などを勘案し、給与・昇給に反映している。職員面談は年2回実施し、異動希望や取り組みたい業務など本人の意向を確認したうえで、適材適所となるよう配置している。</p> <p>職員の希望を踏まえて、個人別研修計画を策定し、スキルアップに取り組んでいる</p> <p>園全体で足りないものは何かというテーマに沿って「年間研修計画」を策定している。本部研修は毎月開催しており、計画的な実施と組織能力の向上に努めている。さらに、考課シートの面談時に決定した各職員のスキルアップ目標を踏まえて、「個人別研修計画」を策定し、計画的な研修参加を促している。また、法人で海外研修や男性保育士研修を実施し、多様な観点での人材育成に努めている。これらの研修で得たものは、研修報告会の時間を設けたり、報告書を供覧することで、情報共有に努めている。</p> <p>常に職員の状況把握に努め、必要に応じ面談を行うなど、きめ細かい対応を心掛けている</p> <p>園長会議では働き方について議題で取り上げることが多く、コンプライアンスの厳守を意識した園運営に取り組んでいる。有給休暇取得率や超過勤務時間は、勤務管理システムにより法人本部で確認し、園長にもフィードバックしている。書類作成に必要な時間が生じた場合は、園長に相談の上、業務内で実施するように配慮している。会議・研修は勤務時間内に実施し、残業の発生を防いでいる。今年度は法人本部主導によって従業員満足度調査を匿名で実施し、職員の要望・意向把握に努めている。</p>		

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

運営課題は園長とエリアマネージャーを中心に、組織的に解決するよう努めている

- ・園運営のサポートのため、法人では傘下の保育園を統括するエリアマネージャーを配置している。
- ・園で生じた問題や保護者対応は現場だけに任せるのではなく、エリアマネージャーとともに解決策や改善案を検討するなど、組織的な対応にあたっている。
- ・園長の大切な仕事として、運営方針、保育方針を職員に明確に伝え、職員が共通の認識を持てるように指導することを明示している。事業計画や各々の年間計画に沿って、職員が自主的に取り組むように意識づけを図っている。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

個人別研修計画を策定し、必要な研修参加を促し、職員のスキルアップに取り組んでいる

- ・目標管理制度を導入しており、年度当初に職員自ら考課シートに目標を設定し、目標達成に向けて自立的に取り組んでいる。
- ・園全体で足りないものは何かというテーマに沿って「年間研修計画」を策定し、園内研修を毎月実施している。
- ・考課シートの面談時に決定した個々のスキルアップ目標を踏まえて、「個人別研修計画」を策定し、計画的な研修参加を促している。
- ・資格取得バックアップ制度を設け、保育士資格の取得費用補助などを通じて、職員のキャリアアップを支援している。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の要望や職員の意見を踏まえて、保育環境の改善を図っている

- ・おもちゃの充実として、5歳児からの創造性を豊かにするブロック購入や古くなったおもちゃの入れ替えを実施している。
- ・0歳児室の保育環境整備の一環として、安全面を考慮し、低月齢・高月齢で分けられるよう、乳児室にしきりとして木棚を設置した。
- ・砂場の砂を補充したり、劣化によりめくれあがっていた側溝際のシートを撤去するなど園庭整備を行った。
- ・給食関係での新しい試みとして、郷土料理を取り入れ、食育を進めている。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

収支状況を園と本部で共有し、適切な予算執行に努めている

- ・収支状況を定期的に園長・エリアマネージャー双方で確認するなど、予実管理を徹底しており、必要に応じて職員会議などで職員への情報共有を行っている。
- ・限られた予算内ではあるが、職員の処遇改善や働きやすい職場環境への改善により、人材の確保と人材育成の強化に取り組んでいる。
- ・開設以来、建物を始めとして経年劣化が進んでおり、備品・修繕にトラブルが多いことから、特に安全に関するものは、法人本部、杉並区と協議し迅速に修繕を行うなどの対応に努めている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
 ・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

満足度調査アンケートや運営委員会を通じ、保護者の要望を把握し改善に努めている

- ・毎年度、保護者満足度調査を実施し、総合的満足度に加えて、職員の保育・保護者対応に関する満足度や改善してほしいことなど具体的な意向把握に努めている。
- ・年2回開催している運営委員会では、保護者代表が父母会の要望・意見を取りまとめて園に伝えている。
- ・保護者からの要望を踏まえて、今年度から保護者に送迎者を事前に登録していただき、登録者に限定して引き渡しカードを配布することとで、確実かつ安全な引き渡し方法に改善を図っている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>区のホームページ、子育て情報誌「保育施設利用のご案内」で情報提供している</p> <p>区のホームページ、広報紙、子育て情報誌「保育施設利用のご案内」「杉並区保育施設MAP」で情報提供している。会社のホームページでは、企業理念や会社全体の事業内容のみ掲載している。見学者に対しては、見学用のしおりを提供し、それに沿って案内している。見学用のしおりは、入園のしおりの簡潔版を使っている。</p> <p>区の私立園長会に参加し、区の保育行政に関わる情報を収集している</p> <p>区の私立園長会に参加し、区の保育行政に関わる情報を収集している。区から指定管理を受託して運営しているため、区とは密な連携を図っている。毎月、月案の反省・評価を区へ提出し、1か月間の保育状況について情報提供している。子どもの退園が生じた際は、区から新規入園児の情報が届く。隣接した児童館・学童クラブとも密な連携を図り、三施設合同の避難訓練を行っている。また、警察署と連携した不審者訓練などを実施するなど、地域の関係機関との連携も密に図っている。</p> <p>見学は、子どもの活動の様子がわかる午前が多く、質問にも丁寧に答えている</p> <p>見学希望の方には、保護者の要望を聴き取り、日程調整をしている。見学希望者には、園長、主任で対応するようにしている。見学では、10時30分～11時頃の午前の活動を中心に、子どもの活動の様子をみてもらっている。子どもを連れて来たり、妊産婦の方もいる。見学は多い時は数組一緒に行うこともあり、その際、保護者同士を紹介している。個別の状況によっては、子育て相談に応じることもある。「延長枠はあるか」など具体的な利用に関する質問などには、丁寧な対応を心がけている。</p>		
サブカテゴリ2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2の講評

入園説明会と新入園児面接を実施し、重要事項や園生活のルールなどを説明している
 入園説明会と新入園児面接を実施し、「園のしおり」「重要事項説明書」や配布書類をもとに、園の方針や概要、保育内容、園の約束事、持ち物、非常災害時の対応などについて説明している。また、「個人情報等の取り扱いに関して」を説明し、保護者に同意の有無について確認し、署名捺印をもらっている。同説明会や面接では、保護者の意向を確認し、その後、職員間で共有し、担当が決まった時点で、さらに担任間で共有している。また、入園説明会に参加できなかった方を対象に、園長が個別に同様の内容を説明している。

保護者の意向を聴き取り、慣らし保育を行い、不安やストレスの軽減に努めている
 新入園児説明会や新入園児面接などで保護者の意向を聴き取り、慣らし保育の時間や期間を設定し、子どもの慣れる状況により、徐々に預かる時間を延ばしている。入園初日は、可能であれば親も一緒に過ごしてもらっている。保護者の就労状況や意向、子どもの状況、集団保育の経験の有無等によって、個別に対応している。迎え時には、子どもの様子を細やかに知らせ、保護者に安心してもらうようにしている。

年長児クラスに小学校の校長や学童クラブの先生が来園し、就学に向けての話をしている
 転園や引っ越し等で退園する場合は、担任手作りの製作帳やクラス全員の写真を渡している。海外へ引っ越しするケースもあるが、海外からハガキが届いた際は、大切にクラスに掲示している。ハガキには、冬休みに来園し、会う約束が記載されていて、子どもたちも楽しみにしている。卒園児の場合、小学校に保育所児童保育要録を提出する旨を、保護者に伝えている。年長児クラスでは、5月の保護者会に小学校の校長が保護者会に参加するほか、1月の保護者会に学童クラブの先生も参加し、就学に向けての話をしてもらい、保護者の不安や疑問に答えている。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3の講評

子どもの心身や生活の状況を把握して、日誌や児童票などに記入している

入園時には、「家庭連絡票」「児童票」「健康調査票」「食事調査票」「入園までの生活状況」などをもとに面接を実施して、子どもの心身や生活状況、成育歴や既往歴、食事や排泄の状況などを把握している。日々の子どもの様子は、園日誌や各クラスの視診表にきめ細かく記載する。園日誌には全職員のチェック欄があり、ミーティングに参加できない職員も、情報の漏れのないような仕組みを作っている。乳児は、複写式の連絡帳を使って、24時間の生活の様子を保護者と園で情報共有している。当園では、全園児に連絡帳を使っている。

各年齢ごとに継続性を考慮し、保育計画を作成している

保育課程を基に年間指導計画・月案・週案を作成し、各年齢ごとに継続性を考慮し、保育計画を作成している。年度初めの保護者会で、年間指導計画とともに、クラス目標や大切にしたいことを説明している。計画作成にあたっては、子どもの姿や、送迎時の会話や連絡帳、個人面談などで寄せられる保護者の意向や希望、感想なども考慮している。個別計画は0・1・2歳児に作成し、乳児・幼児共に月案の終了時に反省及び評価を行い、職員会議で報告し、全職員で共有している。

子どもに関する情報共有のために、昼のミーティング(毎日)などを実施している

子どもに関する情報共有のために、昼のミーティング(毎日)などを実施している。各クラスの担任が参加し、各クラスの視診表をもとに、クラスの子どもの状況について、気になることなどを報告し、職員間で共有している。ミーティングで話された内容は、園日誌に詳しく記載し、参加できない職員も必ず園日誌を確認するようにしている。また、看護師、調理などの他職種からの情報伝達も行われている。その他、職員会議、リーダー会議、クラス会議、乳児会議、幼児会議などを通して、子どもの情報を共有している。

サブカテゴリ-5

5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当	
●あり ○なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>入園の保護者に対して、個人情報取り扱いについて、同意を得ている 「個人情報等の取扱いに関して」を作成し、入園の保護者に説明している。同意書には、個人情報の利用目的や第三者への提供について記載し、「同意する」「同意しない」のどちらかにチェックしてもらっている。また、子どもの羞恥心への配慮として、オムツ交換は決まった場所で行っている。プールやシャワーの際の衣服着脱の際も、全裸にならないよう配慮している。</p> <p>職員は6か月ごとに自己評価をし、自身の言動を振り返る機会を設けている 「虐待防止マニュアル」があり、関係機関との連絡体制が整っており、迅速な対応ができる。子ども一人ひとりの尊厳を大切に、子どもの遊びや思いを尊重するよう、リーダー、主任は指導している。また、「人事考課シート」を使って、6か月ごとに職員が自己評価をし、自分の言動を振り返る機会を設けている。</p> <p>職員個々が自己評価している 新保育所保育指針に基づいて、職員個々が理解度を図っている。評価シートは[人権尊重][個人情報の保護][苦情解決][保育計画][保育内容][要保護児童への対応][特別な支援を要する子どもへの対応][長時間保育の配慮]などであり、自己評価だけでなく、評価の根拠・具体的事例及び改善方法についてのコメントも記載している。その後、クラスで話し合い、できていること・できていないことを確認し合い、園長が園全体での評価を行い、その遵守徹底に取り組んでいる。</p>			

サブカテゴリ6

6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	11/11
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		評点(00000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当	

サブカテゴリ6の講評

業務の標準化を図るため、会社全体で各種マニュアルを整備している

業務の標準化を図るため、会社全体で「防災・災害対応マニュアル」「事故防止対応マニュアル」「SIDS対応マニュアル」「感染症防止・衛生管理マニュアル」「食品衛生管理マニュアル」「食物アレルギー対応マニュアル」「プロケア保育士実践マニュアル」「保育士マニュアル 日常編」などを作成し、職員は事務室でいつでも確認できるようにしている。また、「園長としての心構え」「園長の仕事・主任の仕事一覧表」「主任保育士の仕事一覧表」などを作成し、各階層の役割と責任を明文化している。

ヒヤリハット事例などを活用し、子どもの安全性に配慮している

各クラスに置いたヒヤリハット用紙にハットした事案を記録し、屋のミーティングで共有化している。回覧した職員は確認のサインをし、最後は各クラスで保管し、後の検証に生かしている。看護師は、区主催の研修「保育園における感染症の予防と対応」などに参加し、標準予防策の指導徹底、職員への意識向上を図っている。園長は本部園長会議に参加し、安全管理について、グループディスカッション方式で、各園の問題課題点、その取り組み、工夫している点などについて意見交換し、自園の安全管理への参考にしている。

職員全員で研修内容を共有する仕組みがあり、園全体のスキルアップにつながっている

職員会議の中で、受講した研修のフィードバックを行い、職員全員の共有、園全体のスキルアップにつなげている。例えば、「乳児保育とあそび」の研修報告では、「子どもはしてもらったように育つ、日本の子どもは自己肯定感が少ない。自分を好きにならないと人に対して優しくできない。～しちゃだめではなく、～したかったんだよね、というような肯定的な声かけをする」などを伝え、職員皆で確認し合ったり、保護者への共感の言葉がけをしていくなどの報告をし、職員で共有している。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サブカテゴリ4

サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>園と家庭の両面から、子どもの全体的な姿を把握して保育を行っている</p> <p>子ども一人ひとりの入園までの生活状況・保育状況、健康面の記録、入園後の発達経過記録などの書類を収録した児童票をもとに、日々子どもと生活を共にする中で、現在の発達状況を把握することに努めている。また、日々の連絡帳、送迎時の保護者とのやりとり、個人面談を通じて、家庭における子どもの様子を知り、園と家庭の両面から、子どもの全体的な姿を把握するようにしている。把握した子どもの姿から今後の育ちを見通し、指導計画を作成して保育を行っている。</p> <p>情緒を安定させ、豊かな体験が得られるように環境構成を工夫している</p> <p>保育室にはコーナーを設け、落ち着いて遊べる環境を作っている。子どもの年齢や発達に応じた玩具や用具、材料などを棚に置いて、子どもが手に触れやすく、自由に選べるようにし、自発活動を引き出せるように配慮している。また、保育室の壁面や廊下には、子どもの想像力豊かな作品や絵画を掲示し、明るく温かい雰囲気の中で生き生きと活動できる環境を構成している。園庭にはタイヤ、ボール、フープ、登り棒、砂場などの遊具や、野菜を栽培するプランターなどの環境を整えている。子どもたちはさまざまな活動を豊かに展開している。</p> <p>小学校生活への円滑な接続に向けて、小学校と連携を取りながら支援している</p> <p>年長児の保護者会に地域の小学校の校長先生に来てもらい、就学に向けた話を聴く機会を設けた。「学力の定着」「豊かな心」「体力向上」など、保護者が子どもの学校生活について理解する機会になっている。また、年長児には「言葉や文字に関心を持ち、自分の思いを伝える」を目標に取り上げている。郵便ポストを作り、保育士と一緒に郵便ごっこをする中で、文字を使ってやり取りを楽しめるようにしている。子どもは保育士に、卒園への素直な気持ちを手紙に書いて伝えている。生活や遊びの中で、文字などで伝え合う喜びが芽生えている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当	
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当	

評価項目2の講評

登降園時には、保育士と保護者が子どもの様子を伝え合っている

登園時には、保護者に家庭での子どもの体調などを聞き、保育士は子どもの機嫌、顔色、表情などを視診している。また、家庭での状況、園での生活や健康状況を連絡帳で確認し、子どもが園生活の中で心身ともに健康に過ごせるように努めている。降園時には必ず担任が保護者一人ひとりに子どもの様子を伝えている。送迎時の保護者との会話の時間を大切に、日々の積み重ねによって、「保護者が安心して預けられる」保育園を目指して日々取り組んでいる。

園と家庭で連携を取りながら、食事、排泄、など基本的な生活習慣の習得を進めている

園での生活を通して、食事、排泄、睡眠、衣服の着脱、清潔などの習得は、月別個人計画や食育計画などの中で目標を立てて取り組んでいる。基本的な生活習慣の習得は、安心できる保育士との関係のもとで、一人ひとりの発達過程に合わせて、無理なく行っている。連絡帳や保護者会の中で園での取り組みを伝えている。2歳児の保護者会では、トイレトレーニングを取り上げ、3歳児では一年間の取り組みの中で、自分でできる喜びを大切に、個人に合わせた援助をしていくことを伝えている。基本的な生活習慣の習得は、家庭と連携を取りながら進めている。

年齢や体調、家庭での生活リズムなどに配慮して休息や午睡をとっている

0歳児は月齢に応じて、1・2歳児は12:30～15:00、3歳児は12:45～15:00、4歳児は13:00～15:00、5歳児は13:15～15:00に午睡を設定している。0歳児は保育士が抱っこやトントンをして安心して眠れるようにし、1・2歳児は食事を終えた子どもから布団で睡眠をとっている。幼児は昼食後ホールのコットベッドで午睡(休息)を取っている。午睡は家庭の要望等に配慮して柔軟に対応し、年長児については、9月頃から時間の短縮、1月以降午睡をなくすなど、就学へ向けた対応をしている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(○○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもの遊びが豊かに展開されるように環境を整えている

温かな親しみといきいき活動できる環境を整えている。各保育室にコーナーを設け、集中して遊べる空間があり、年齢に応じた玩具を整備して子どもの遊びが豊かに展開されるように工夫している。乳児の保育室には絵本や音の出る玩具、指先を使う玩具、人形などごっこ遊びの玩具を整えている。幼児室には温かみのある木の積み木を豊富に揃えている。また、各種の材料や画用紙、描画道具を整え、折り紙で季節の花を折ったり、トイレトペーパーの芯で望遠鏡、画用紙でアイスクリーム作ったり、染め物Tシャツ製作など、表現活動を豊かに展開している。

リズム運動や体操教室など、楽しみながら体を動かし、心身の健康に取り組んでいる

保育士を模倣して体を動かして自分の体を支える、ピアノに合わせて楽しく体を動かすなど、0歳～5歳児まで、年齢に応じたリズム運動を楽しみながら体を動かしている。リズム運動の積み重ねにより、足腰を鍛えねばならない体を作っている。3歳～5歳児対象の体操教室は年齢に応じたスキンシップ運動やマット、跳び箱、縄、ボール遊びなどの運動をし、楽しい雰囲気心がけながら、子どもたちの心身の健康に取り組んでいる。英語教室では1～5歳児が歌や踊り、カード等で英語に触れ、歌や体を動かすなどして、英語を楽しんでいる。

園庭の花壇や公園の自然に触れ季節の移り変わりを感じとっている

天気の良い日は、園庭や散歩先の公園で全身を動かして遊んでいる。子どもたちは身近な自然に触れ楽しんでいる。春には桜を見てお花見ごっこ、花びら拾い、蝶々を追いかけて遊び、花壇で育てたチューリップの花に親しみの気持ちを持ち、新緑の季節にはたんぽぽ集めに夢中になって遊んでいる。梅雨の季節には紫陽花の美しさを感じ、夏にはセミの鳴き声を聴き、秋にはトンボを見つけ、どんぐり、松ぼっくりなどの木の葉を拾って楽しんでいる。また、野菜を栽培し、水やりなどを通して生長過程を知るなど、自然に触れ、季節の移り変わりを感じとっている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>誕生児の成長をみんなで祝い、楽しむ会を行っている</p> <p>行事は毎月の誕生会、子どもの日、七夕、ちびっこ祭り、運動会、新年子ども会、節分、ひな祭り、遠足、芋ほりなど、さまざまな行事を行っている。毎月行う誕生日会では、全園児がホールに集まり、その月に生まれた子どもの成長をお祝いしている。子どもたちは冠をかぶり、みんなの前に入場する。誕生児はインタビューを受け名前、年齢、好きな食べ物を言い、みんなからお祝いされ、保育士の出し物を楽しむ。1年に1度の成長の節目をお祝いする誕生会では、一人ひとりの喜ぶ姿が見られる。</p> <p>みんなで力を合わせて取り組み、充実感や達成感を味わっている</p> <p>ちびっこ祭りや運動会は、保護者や地域の方など大勢が参加して楽しめるように実施している。年長児はちびっこ祭りに向けて、ちょうちん作り、ポスター作りやチームごとのお神輿作りに取り組んだ。当日はお神輿、盆踊り、コーナー(製作、スーパーボール輪投げ、魚釣りを設け、親子で楽しんでいる。運動会は歌、体操、かけっこ、親子、保護者、地域競技(乳児、就学児、祖父母)、リレーなどや組体操、体操教室など日ごろ取り組んだ成果を披露し、大勢から拍手をもらった。友だちと何度も練習し協力してやり遂げ、充実感や達成感を味わっている。</p> <p>年間行事予定表を配布し多くの保護者が参加して楽しめるように取り組んでいる</p> <p>年度当初、保護者に年間行事予定表を配布し、理解と協力をお願いしている。毎月の園だよりには行事予定を掲載して、行事ごとの概要を伝え、また、クラス便りには詳細な内容を掲載して、保護者が楽しみに参加できるようにしている。ちびっこ祭りでは製作コーナーで子どもと一緒に面作りをお願いし、魚釣りコーナーの魚を作ってもらうなどの協力をお願いして、子どもが意欲的に取り組めるようにしている。保護者が行事に参加できない場合は子どもへの配慮や行事終了後の保育を行うなど個々の事情に配慮している。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもたちが楽しく過ごせるように配慮している</p> <p>朝・夕保育、延長保育は時間になると合同保育になり、子どもの年齢や発達に合わせて各クラス、興味を持って遊べるように工夫している。一人ひとりが自分の好きな人形など日中とは違う玩具で遊べるようにしている。また、ままごと、ぬいぐるみ、粘土、木の積み木など年齢に応じて玩具を整え、保育士と一緒に楽しく過ごせるようにしている。0歳児は0歳児保育室で一日ゆったり過ごし、18:30以降は、3歳児室で異年齢で過ごし、18:30から補食を提供している。</p> <p>異年齢の子どもたちが楽しく過ごせるように環境を整えている</p> <p>合同保育の中で異年齢の関わりを大切にし、その中でも子ども一人ひとりの発達に配慮して保育を行っている。保育士を大切な保育環境の1つとして捉え、適切な援助ができるように努めている。保育時間が長い子どもの中には、兄弟関係が多くおり、大きい子は小さい子にやさしく一緒に遊んでいる。また小さい子ができないことは、手助けをしている。小さい子は大きい子の遊びをよく見て学ぼうとする姿が見られる。保育士は子どもが安心してできるよう抱っこしたり、ひざに乗せて絵本の読み聞かせをしたり、個別に関わり安心して過ごせるよう援助している。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

和やかな雰囲気の中で落ち着いて食事をとれるように配慮している

給食は旬の食材を使い薄味にし、素材の味を大切にしている。毎月の誕生日会の特別メニューや郷土料理を取り入れ、子どもたちが日本の味や文化を知り「食」に関する様々なことを学べるようにしている。子どもたちはゆったりした環境の中で落ち着いて食事をしている。子どもに合ったテーブルや椅子に姿勢をよくして、友だちと「好きな食べもの」「なんでも食べられる」などの会話をしながら楽しく食事をしている。保育士は子どもの側に付いて子どもがバランスよく食事を摂れるようにやさしく励ましの声かけをするなど援助している。

食物アレルギーを持つ子どもには、除去食を提供し誤食防止に取り組んでいる

入園時に食物アレルギーの有無を確認し、医師が書いた生活管理指導表をもとに除去食を提供している。毎月、保護者、栄養士、担任がアレルギーの除去食について話し合い、間違いのないようにしている。保護者、栄養士、担任がそれぞれの献立表に除去する食品を確認し、マーカーで印をつけている。チェックをしたアレルギー確認献立表に園長と担任がサインして担任が保護者に渡し、捺印してもらう。除去食はトレーを別にし、ラップに除去品名を書き、決められている席に運んで保育士が子どもの側に付き、細心の注意を払って見守っている。

栽培や調理保育を通して食べ物への興味や意欲を高めている

食育年間指導計画を立てて「楽しくなんでも良く食べる元気な子」に取り組んでいる。園庭の花壇で、きゅうり、小松菜、オクラ、枝豆、トウモロコシなどの野菜を植え、みんなで水やりなどをして育て収穫した。収穫した野菜を調理保育の材料に使い、身近な野菜への興味を持つようにしている。0歳児～5歳児みんなで楽しい調理体験をしている。乳児は野菜ちぎり、野菜に触れ臭いを嗅ぐなどを楽しんでいる。幼児はグリーンピースのさやむき、ゼリー作り、だし汁作り、かぼちゃのお菓子作りなどさまざまな調理を体験し、食べ物への興味や意欲を高めている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

子どもが自分の健康や安全に関心を持てるように援助している

看護師が手作りした絵を見て手洗いの仕方を覚え、順序よく手洗いができるようにしている。歌を歌いながら楽しく行い、手洗いやうがい習慣づけている。また、危険から身を守るために、交通安全指導で交通ルールを守ることの大切さを学び、散歩の時は自分で車が来ないか確認できるようにしている。公園の固定遊具の遊び方、園庭の登り棒、タイヤを使う時の約束、プールでの遊び方、室内遊びのルールを知らせている。年長児は道路の渡り方を覚えて、安全に通学できるように指導している。毎月避難訓練を行い、安全に避難できるようにしている。

嘱託医と連携して子どもの健康管理に努めている

1～5歳児は年2回定期健康診断を行っている。0歳児は毎週嘱託医に健康の様子を見てもらい、体調の変化を早めに把握し、保護者の支援につなげている。0～5歳児はぎょう虫卵検査、歯科健診、3～5歳児は視力検査、耳鼻科健診、眼科健診を行っている。また、毎月0～5歳児の身体測定を行っている。健診や測定の結果は児童票や健康診断記録に記入し、保護者には健康カードに記入して渡し、サインをもらっている。家庭と園で子どもの健康状態、発育・発達状態を把握できるようにしている。

乳幼児突然死症候群などの情報を保護者に掲示や「ほけんだより」で知らせている

感染症が発生した場合は直ちに全クラスに掲示し、病名、クラス、人数などを知らせ、感染の拡大を防ぐようにしている。「登園前に目覚め、顔色、鼻水などをチェックし、いつもと違うと気づいたら検温する」ことを「ほけんだより」で保護者に伝え、予防を促している。乳幼児突然死症候群(SIDS)の強化月間にはポスターを掲示して知らせている。午睡時のうつぶせ寝は仰向けに姿勢を変え、0歳児は5分ごと、1・2歳児は10分ごとにプレスチェックを行い健康チェック表に記入し、保育士は側に付き細心の注意を払って見守っている。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者の就労等に配慮して、急な残業にも柔軟に対応している

保護者には子育てや就労などの事情に配慮して、安心して子育てができるように支援している。入園時の面談や入園後の日々のやりとり、個別面談を通して家庭の状況を把握しており、家庭の事情などに応じ保護者の相談にはいつでも受け入れるようにしている。保護者の申し出による延長スポット保育、あらかじめ取り決めた保育時間を変更する必要がある場合や、急な残業にも対応できるようにしている。

保護者参加行事や保護者会など保護者同士が交流できる機会を設けている

ちびっこまつりや運動会など保護者参加行事を行っている。ちびっこまつりでは子どもと保護者が「お神輿応援団」になって、声をかけて応援し、盆踊りを楽しみ保護者同士が交流している。また保護者にお面作りや魚の製作をお願いして保護者同士がより楽しめるようにしている。運動会では子ども、保護者、職員、地域の方が体を動かして楽しんでいる。親子競技、保護者競技に参加して保護者同士顔見知りになり楽しく交流している。また子どもの踊りや組体操、競技など一生懸命取り組んでいる姿を観て子どもの成長を喜び合い交流している。

子どもの発達や保育の様子を伝え、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている

年2回の保護者会には茶話会を設けて給食のおやつを保護者に提供している。前期の保護者会では職員紹介や年齢に応じたテーマや内容を決めている。各クラス担任が子どもの様子を伝え、質疑応答や懇談の時間を設けている。各クラス年齢に合った説明をし、特に5歳児クラスでは就学に向けて、小学校の校長先生の話聴く機会を設けている。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>小学校の行事への参加や児童館での遊びなど楽しく交流している</p> <p>年長児は小学校の発表会に参加したり、こま作りや図書室で絵本を借りる体験をしている。年長児の保護者会では小学校の校長先生の話や聞く機会を設け、また地域の小学校3校との交流が予定されるなど小学校との交流が多い。併設されている児童館の行事や地域交流の遊び場として活用している。ハロウィンでは衣装を着けて商店街に行き、お店の方からお菓子をいただき、担任がお礼に伺っている。年長児はプラネタリウムの見学や保育まつりに参加している。子どもたちは地域の人々と関わり、多様な体験をして生活の幅を広げている。</p> <p>地域の人々に支えられ「自分が好き、自分以外の人も好きになれる」を育てている</p> <p>地域に根差した保育園として、地域に支えられている。散歩時には地域の商店街の方々からやさしい声をかけていただくことが多い。また、卒園児や祖父母などを園の行事に招待し、励ましや声援を受けている。また、地域の親子が行事に参加して交流している。今年度は商店街のお花やさんに「花育」をしてもらった。スターチス、カーネーション、バラ、など美しい花をオアシスに生ける貴重な体験をした。警察署の交通安全指導や中学生の職場体験や実習生を受け入れるなど、地域の多くの人と触れ、多様な体験をして生活の幅を広げている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	2-1-1	社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している
タイトル①	コンプライアンスを重視しており、研修や各種会議を通じて職員の理解を促している	
内容①	職員が遵守すべき判断基準・行動基準を示す「行動基準」を策定しており、福祉サービスに携わる者として必要となる、適切な判断と行動を明示している。新人研修では、コンプライアンス関連の研修プログラムを組んでおり、「就業規則・服務規律・懲戒処分」「行動基準」「個人情報保護」「ハラスメント研修」を実施し、業務にあたるうえで内容を十分に理解することを必須としている。園長は職員の労務管理に責任を持ち、SNSやメールでの時間外の業務指示の禁止や時間外の研修・会議は行わないなど、サービス残業の発生防止を徹底している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	食育年間指導計画を作成し、栽培や調理保育に取り組んでいる	
内容②	0～5歳児までの食事の提供を含めた一貫性のある食育年間指導計画を作成し、取り組んでいる。「給食年間目標」は子どもの生活や節目に配慮して年を4期に区分し、それぞれの時期にふさわしい内容にしている。例えば、1期では「いただきます、ごちそうさまの挨拶をする」「手洗いをしっかりとる」、2期「よく噛んで食べる」3期「よい姿勢で食べる」、4期「落ち着いた雰囲気の中で友達と楽しく食事をする」などとなっている。また、栽培や調理保育を通して食べ物への興味や意欲を高め、「楽しくなんでもよく食べる元気な子」に取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-2	職員の質の向上に取り組んでいる
タイトル③	職員のスキルアップの機会を多様に設けている	
内容③	職員のスキルアップに力を入れており、会社主催の研修に参加したり、区の実施研修や杉並区私立保育園連盟の研修などにも積極的に参加して、職員の研修個別ファイルを作成して管理している。また、年長児クラスの担任からの「他園の5歳児のクラスを見に行きたい」との希望により、他園を訪れ、年長児の1日の流れを知るとともに、環境設定や子どもへの声かけ、関わり、配慮、保育観や考え方を学んだ。法人内階層別職種別の各会議も設け、情報交換や事例検討を行い、他園の成功事例なども学び、視野の拡大につながっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	描画や製作などを楽しみ、表現意欲や表現する喜びを高めている
	内容	描画や製作活動が豊かに展開されるよう、素材や用具を整え、年齢に応じたさまざまな遊びを楽しめるようにしている。お絵描き、シール貼り、タンポ、フィンガーペインティングなどをしたり、育てたきゅうり、オクラなどでスタンプ遊びをしたり、季節の花の描画、折り紙を楽しんでいる。読んでもらった絵本のお話への思いを一人ひとりが温かく描いている。トイレトペーパーの芯で望遠鏡、マーブリングした画用紙でこいのぼり、画用紙でアイスクリーム作り、染め物Tシャツなど、製作活動を豊かに展開し、表現意欲や表現する喜びを高めている。
2	タイトル	地域の商店街や児童館、小学校と交流して生活の幅を広げている
	内容	地域の商店街の方々には散歩時にやさしく声を掛けてもらったり、ちびっこまつりや運動会に招待したり、ハロウィーンではお菓子をいただいたりして、地域の人々と交流して生活の幅を広げている。商店街の花屋さん「花育」をしていただき、さまざまな花を知り、学ぶ機会になっている。併設の児童館を地域交流の場として活用し、楽しい遊びの場になっている。またサンタさんをお願いしたり、児童館の事業に職員を派遣したり交流している。小学校の図書室で好きな絵本を借りる体験や発表会に参加して小学生と一緒に遊ぶなど楽しい体験をしている。
3	タイトル	海外研修や男性保育士研修など特色のある研修に参加し、多様な観点から職員育成に努めている
	内容	今年度は、法人が実施する海外研修に当園から職員が1名参加している。また、男性保育士の役割や課題を協議する男性保育士研修にも参加し、多様な観点から人材育成を図っている。今年度から、本人のスキルアップ・キャリアアップの希望を踏まえ、個人別研修計画を策定し、外部研修の参加を促進している。個々の職員の能力・専門性の向上が園全体で「保育の質の向上」につながるよう、研修内容や知識の共有に努めている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保育計画の提示など、なお一層の保護者との共育での取り組みを期待する。
	内容	利用者調査では、保育内容の説明に関して、肯定的返答が全体の65%、消極的否定的返答が33%であった。保護者からは「時間のない中、要点をつかみ丁寧に説明してくれている」などのコメントが寄せられていた。幼児は、日々の活動を保育日誌として掲示して、保護者に保育内容を伝え、乳児は連絡帳で詳しく保育内容を伝えており、随時、個別面談や保育参観が可能であるが、これに加えて、月案などの保育計画も保護者に示すなどして、なお一層の保護者との共育での取り組みを期待する。
2	タイトル	地域の子育て支援事業の取り組みを期待する
	内容	隣接の児童館とは良好な協力関係を築けており、保育士が地域の子育て中の母親を対象に、トイレトレーニングや離乳食などの子育てセミナーを開催している。園として、地域の子育て支援事業の取り組みについて計画を立てているが、実現にまでは至っていない現状がある。地域の子育て支援事業の取り組みを期待する。
3	タイトル	外部の苦情相談窓口の周知に関してさらなる取り組みを期待する
	内容	園の職員に直接苦情・意見を言いつらい場合は、法人本部に相談専用窓口を設け、ホットラインを開設している。また、地域の児童民生委員を第三者委員に任命し、運営委員会などにも参加し、中立的な立場から助言をいただいている。しかし、利用者調査では、外部の苦情相談窓口の周知に関して、肯定的返答26%、消極的否定的返答42%であった。外部の苦情相談窓口の周知に関してさらなる取り組みを期待する。

4. 西荻北保育園

西荻北
保育園

[ver.2]

調査対象

平成29年10月の配布時点で利用している在園児87名の保護者74世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数	87
利用者家族総数(世帯)	74
共通評価項目による調査対象者数	74
共通評価項目による調査の有効回答者数	62
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	83.8

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」5名(8%)、「母」48名(77%)、「父母一緒に」5名(8%)、無記入4名(7%)。
 ・総合的な感想は「大変満足」30名(48%)、「満足」29名(47%)、「どちらともいえない」3名(5%)で、「大変満足」「満足」と回答した方々は回答者の95%で、当園の保育に非常に高い満足を得ている。
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心のある活動」、問3「食事」、問9「清潔で整理整頓された空間」、問10「職員の言葉遣いや態度」、問13「子どもの気持ちの尊重」、問14「プライバシー保護」であった。
 ・総合的な感想では、「ベテランの保育士さんが多く安心できる。子どもの良いところをみている」「日々の生活習慣にもよく気をつけてくれて、口頭や連絡帳で相談できるので助かっている」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	61	1	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の98%で、心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	58	4	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の94%で、興味や関心を持つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「園での出来事などを話してくれており、保育園が本当に楽しいんだな、と思うことが多い」などのコメントが記入されていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	57	5	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の92%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	55	7	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の89%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「子どもからの話や、先生が毎日書いてくれる貼り出し日誌や連絡帳を見て、散歩一つとってみても、工夫されていると思う」「野菜の栽培など、自然との関わりなど、勉強になる機会が多い」などのコメントが記入されていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	49	6	2	5
「はい」と返答された方々は回答者の79%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「柔軟な対応で、かつ電話の先生の声が明るく穏やかで安心する」などのコメントが記入されていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	43	15	4	0
「はい」と返答された方々は回答者の69%、「どちらともいえない」24%、「いいえ」7%であった。「どちらともいえない」と返答された方からは「安全対策は取られていると思うが、具体的にはよくわからない」、「いいえ」と返答された方からは「出入口の門のカギに関して、不便なので、改善して欲しい」などのコメントが記入されていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	45	12	5	0
「はい」と返答された方々は回答者の73%で、行事日程の設定に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「もっと行事を増やして欲しい」、「どちらともいえない」と返答された方からは「乳児クラスには土日の行事がなく、父親が参加しにくい」、「いいえ」と返答された方からは「面談や保護者会が平日開催が多いので、兄弟がいると大変」などのコメントが記入されていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	52	10	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の84%で、家庭と保育所との信頼関係の構築に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「信頼関係はあるが、お互いに忙しいと思うとゆっくり話すことができない」、「どちらともいえない」と返答された方からは「普段、先生と話をする時間がとれない」などのコメントが記入されていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	57	5	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の92%で、施設内の清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「朝も夕方も丁寧に掃除されていて、いつもきれい」などのコメントが記入されていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	56	6	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の90%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	52	8	0	2
「はい」と返答された方々は回答者の84%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「体調の変化をよく見てくれて細かく対応し、報告してくれる」などのコメントが記入されていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	47	12	2	1
「はい」と返答された方々は回答者の76%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「どんなケンカだったのか、どうしてそうなったのかなど、細かく教えてもらっている」などのコメントが記入されていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	56	6	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の90%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「いつも受け止めてくれて、ありがたい」などのコメントが記入されていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	56	3	1	2
「はい」と返答された方々は回答者の90%で、プライバシー保護に関して非常に高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	52	10	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の84%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「(保育内容の説明は)簡潔で、わかりやすい」「保護者会や面談のときなどに、(保育内容について)きちんと話を聞いている」などのコメントが記入されていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	46	10	1	5
「はい」と返答された方々は回答者の74%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「親子の要望を伝えやすい体制づくりの他に、職員へのフォローも大切であると思う」、「どちらともいえない」と返答された方からは「オムツの持ち帰り制度について不満があるが、区の管轄だと言われた」などのコメントが記入されていた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	22	14	12	14
「はい」と返答された方々は回答者の35%、「どちらともいえない」23%、「いいえ」19%、非該当23%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <input type="radio"/>非該当

カテゴリー1の講評

「育てよう あいのクローバー」を保育方針として掲げ、玄関などに掲示している

「育てよう あいのクローバー」(ふれあい、たすけあい、みとめあい、そだちあい)を保育方針として掲げ、玄関・事務室・各保育室に掲示している。年度当初に「西荻北保育園の保育理念」「保育方針」「保育目標」を職員で確認し合い、それをもとに各クラスの年間計画を作成し、計画に沿った保育に努めている。保護者には、「西荻北保育園の保育理念」「保育方針」「保育目標」を記載した「西荻北保育園のしおり」を配布し、入園説明会で説明している。園だより・クラスだより・事務所だよりなどで、園が保育理念等を大切にしていることを伝えている。

最終的には園長が判断し、責任をもつことを職員へ伝えている

年度初めの各クラスの保護者会に園長が参加し、保育で大切にしていることを説明し、保護者への理解浸透を図っている。園内の各案件に関して、最終的には園長が判断し、責任をもつことを職員へ伝えている。そのため、報告・連絡・相談を実行するよう伝えている。杉並区立保育園では、保育の質の向上を目的に「保育の向上を考えるリーダー会議」を組織化しており、向上リーダー2名および園長・主査を園の保育の向上促進の4本柱と位置づけている。区内各直営園が横断的に情報交換し、互いに刺激をし合い、自園での実践の参考になっている。

「仕事分担表」を作成し、各職位職種の役割を明示している

「仕事分担表」を作成し、各職位職種の役割を明示している。定例会議(週1回)や職員会議(月1回)、必要に応じて、各プロジェクトの打ち合わせなどを通して、現場の問題課題について検討している。定例打ち合わせは、昼寝当番以外は全員が参加し、参加できなかった職員は報告を受け、打ち合わせ記録を読み、チェックするようにし、全職員で情報共有を徹底する。より良い保育環境を整備し、充実した保育の実現に資するために「目標申告」「戸外環境」「室内環境」「子育て支援」などのプロジェクトを設け、クラス横断で協議している。

2 経営における社会的責任			4 / 4
サブカテゴリ1(2-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4 / 4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)			
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)			
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(2-2)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7 / 7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)			
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)			
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

園内研修で子どもへの関わりについて学び合っている

正規職員の入職時研修では「公務員倫理」「人権」などについて指導教育が行われている。区が区立保育園の目指す保育や保育士としてあるべき姿を「杉並区立保育園保育実践方針」に明示し、パート・アルバイトも含めた全職員に配布している。新人職員に対して、「杉並区立保育園実践方針」について説明し、読み合わせをしている。園内研修では、子どもへの関わりについて学び合っている。園独自の業務マニュアルを作成しており、その中に個人情報保護や危機管理などについて明記しており、年度末に職員全員で確認し合い、見直ししている。

「ともだちひろば」を設け、地域の子育て支援を行っている

「ともだちひろば」を設け、地域の人が親子で遊びに来る機会を作っている。毎回、14組ほどの親子が参加しており、栄養士による離乳食やアレルギー相談や、発達不安についての相談を受け、地域の子育て支援を行っている。児童館まつりに参加し、保育士が出向いて、地域の親子に遊びについて伝えている。園庭がない民間の認可保育園の園児が来て、園庭遊びや水遊びを一緒にし、園の機能を地域に還元している。幼保小連携は、継続性を持った取り組みを進め、職員間の交流と連携を継続している。

ボランティア導入にあたって、活動にあたっての留意事項について説明している

ボランティアの受け入れは、ボランティアセンターに窓口を依頼している。実際の活動にあたっては、「実習生・職場体験・ボランティアの皆さま」を作成し、主査が担当者になり、受け入れクラスの担任と連携し、留意事項についてオリエンテーション時に説明し、確認し合っている。ボランティアは、自立高齢者のサークル活動の方々による「おはなし会」が行われている。そのほか、保育専門学校・大学生の実習、東京都子育て支援員研修での実習生を受け入れている。

3			カテゴリ-3	
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用			サブカテゴリ-1 (3-1)	
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる			評点(〇〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している			評点(〇〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している			<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評				
<p>「苦情解決制度」を利用できることを、園のしおりに掲載し、入園説明会で伝えている</p> <p>「苦情解決制度」を利用できることを、園のしおりに掲載し、入園説明会で伝えている。園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示している。意見箱を設置し、いつでも苦情や意見を投函できるようにしている。保護者の苦情・意見などを受けた際は、昼のミーティングで職員間で共有し、園日誌に記録している。連絡帳に記載してきた保護者の意見などは、クラス内で話し合い、個別に対応している。</p> <p>運動会などの実施後に保護者に意見や意向を把握し、次回の改善につなげている</p> <p>「みんなであそぼう会」(運動会)実施後に保護者に感想を書いてもらい、保護者の意見を集約し、「みんなで遊ぼう会ニュース」でフィードバックしている。また、次回の改善につなげている。保育参加・保育参観後の感想、試食会後のアンケートなどで保護者の意見を把握し、分析・検討し、園運営に活かしている。これらの保護者の意見や園の対応について、「園だより」「事務室だより」で解決策や保育の方向性、杉並区の方針などを伝えている。</p> <p>地域子育てネットワーク連絡会や地域懇談会などに参加し、地域ニーズを収集している</p> <p>児童館、小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や、区内の認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育関係施設の長が集まる杉並区内保育施設地域懇談会に参加し、保育に関する情報を収集している。近くの児童館に出向き、地域の子育て中の保護者と話をしたり、区発行の各保育施設冊子等の資料を参考にすることで、地域ニーズを収集している。区主催各種研修・園長会などへの参加や、新聞記事や書籍等で得た情報も確認しながら、日々の保育に役立てている。</p>				

カテゴリ-4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ-1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー4の講評

園の組織目標を策定し、その目標達成に向けて取り組んでいる

区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、「目標シート」に園の組織目標を策定している。「目標シート」には、目標や具体的な取り組みを定め、その目標達成に向けた実行体制を整え、その実践に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行い、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。また、保育計画に関しては、週ごと・月ごと・半期ごと・年度末に計画の反省を行い、次年度の計画に活かしている。

月1回の避難訓練や、年3回の防犯訓練を実施し、利用者の安全確保に取り組んでいる

月1回、火災・地震を想定しての避難訓練を実施している。年度初めには図上訓練を行い、避難経路・消火器・持ち出し袋の場所や中身の確認などを行っている。年1回、消防署職員から避難訓練の指導を受け、通報訓練・消火訓練などを行っている。また、プール遊びを始める前に、救急法の実施訓練を行っている。年3回、防犯訓練を実施し、警察署職員から助言指導を受けている。近隣に不審者情報があつた場合は、その情報を掲示し、保護者に周知している。

連携園の看護師が来園し、嘔吐物処置について教育指導している

1歳児園なので、看護師は配置されていないが、感染症の流行時期前に連携園の看護師が来園し、嘔吐物処置について教育指導している。パート職員にも周知している。保護者に配布している「保健だより」にも嘔吐物処理の仕方について掲載し、園内にも感染の症状・対応方法について掲示している。食事に関するヒヤリハットに所定の書式があり、事例発生時には、栄養士が書類を提出し、役所にも報告している。

5			カテゴリ-5	
5			職員と組織の能力向上	
			サブカテゴリ-1(5-1)	
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている			評点(000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる			評点(00000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している		<input type="radio"/> 非該当	
			サブカテゴリ-2(5-2)	
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる			評点(000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを越えた場合の対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ5の講評		
<p>年2回以上の園長との面談を行い、職員の能力向上を図っている</p> <p>年2回以上、正規職員が園長と面談を行い、個々の仕事目標や目標への達成度を振り返り、未達成の課題の状況把握や原因究明に努め、職員の能力向上を図っている。パート職員に対しても、年1回、個別面談を行っている。人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。クラス担当を決める際は、園長が個別面談を行い、過去3年間の受け持ちの経歴や次年度の希望のクラスを把握し、最終的に園長が決裁する。常勤職員は経験豊富な職員が多く、保育現場は安定している。</p> <p>区主催研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで職員育成を行っている</p> <p>区主催研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで職員育成を行っている。研修案内が届いた際は、ミーティングや業務日誌、研修専用のバインダーに挟んで、職員に周知し、希望を募っている。できる限り職員の希望を優先するようにしている。研修受講後、園長に学んできたことを報告するほか、研修レポートを提出すると共に各会議などで報告し、職員間と共有化している。職員会議などで、職員個々が事例を持ち寄った事例検討や、テーマを決めたグループ討議など、職員が主体的に学ぶ機会も設けている。</p> <p>全職員に対して個別面談を実施し、働きがいのある職場環境に努めている</p> <p>パート職員も含めた全職員に対して個別面談を実施し、仕事内容・メンタル面の聞き取りを行い、働きがいのある職場環境に努めている。園長・主査を中心に就業状況を把握し、ローテーション勤務の中で必要な休暇等の取得に努めている。超過勤務内容は、夜の職員会議や保育計画の作成、クラスだよりの作成、行事の準備などである。昼休憩は順番に取れている。区の健康診断においてストレスチェックを実施し、高ストレスの職員は産業医に面談できるような仕組みになっている。</p>		

7 カテゴリー7		
7 情報の保護・共有		
サブカテゴリー1(7-1)		
情報の保護・共有に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー7の講評		
<p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行うなど、記録類の適切な管理を行っている。園の紙ベースの情報やメモリーカードの保管は、保育課の指示のもと、鍵のかかる場所で保管している。記録類などの個人情報を棚から持ち出すときは、持ち出しチェック表を使って出し入れを管理している。</p> <p>杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている</p> <p>杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また情報収集の目的・使用範囲などを明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関して注意を徹底している。そのため、定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。保護者が保育記録の閲覧を希望する場合は「閲覧等申出書」を提出すれば可能である。「保育記録の保護者閲覧の流れ」(手順書)を作成し、「保育記録閲覧記録簿」も用意し、適切な対応ができるようにしている。</p> <p>入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している</p> <p>正規職員に対して、入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導されている。パート・アルバイト等の非常勤職員に対しては、「区立保育園で働くにあたって」という文書を配布し、「仕事をしていく上で知り得たことは、絶対外部へ漏らさないでください」との文面を確認している。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、受入手順書を作成し、活動初日のオリエンテーションで、園長・主査が活動中に知り得た個人情報について活動中・活動後も第三者に漏らさないことを説明している。</p>		

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育課程の見直しの作業を通して、職員全体の意識が高まった
 ・前年度、保育の実際と保育課程の内容との違いや発達の目安とのずれなどについて気づき、職員会議で保育課程の見直しについての話し合いを重ねた。グループ討議なども行い、事例を挙げながら、「杉並区立保育園保育実践方針」の読み合わせもした。この保育課程の見直しの作業を通して、職員全体の意識が高まり、保育の質の向上につながった。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育の質向上を目指して、振り返り事例の検討を取り入れた
 ・園長・主査・向上リーダー2名を保育の向上促進の4本柱と位置づけ、年間の職員会議の企画運営を行っている。効果的な話し合いが持てるよう、活発な意見交換が行われている。
 ・保育の質向上を目指して、振り返り事例の検討を取り入れた。各自が事例を持ち寄り、それをもとに5～6人のグループに分かれて話し合い、実践に活かしている。振り返り事例を書くことにより、自分の保育をより具体的に見つめ、他職員の考えも聞くことができ、保育の質の向上につながっている。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

個人面談の日に保育参加を働きかけ、園の理解促進を図っている
 ・保護者への保育園の理解促進を図るため、年間を通して保育参加・保育参観を呼びかけている。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育料収納率の向上に取り組んでいる

・区保育課として、給食調理用業務の委託や指定管理制度による保育園の公設民営化によるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率の向上に取り組んでいる。調理用業務委託については、平成28年度現在、公立園37園中24園で実施している。指定管理制度は、平成28年度より1園増え、6園で導入している。また、保育料の収納率については、平成27年度で98.15%(対前年比0.22%増)となっている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
 ・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

「ともだちひろば」の参加者にアンケートを実施し、その要望に応えている

・保育参加・保育参観後の感想、試食会後のアンケートなどで保護者の意見を把握し、分析・検討し、園運営に活かしている。
 ・「ともだちひろば」の参加者にアンケートを実施し、その要望を受け、手作りおもちゃを検討したり、簡単メニューを配布したりしている。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の実望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>「西荻北保育園概要」を作成し、見学時に活用している</p> <p>区のホームページや広報紙、保育施設情報誌「保育施設利用のご案内」や「杉並区保育施設MAP」などで情報提供している。区のホームページの「施設案内」では、当園の概要や保育目標、主な行事、園の特色など、利用希望者に必要な情報を簡潔に載せている。また、「西荻北保育園概要」を見学者用に作成し、見学時に活用している。園の掲示板には、「ともだちひろば」などの子育て支援事業に関する情報を掲示している。「ともだちひろば」のパンフレットや「西荻北保育園概要」を園医・図書館・近隣小児科等に配布し、地域に情報提供している。</p> <p>行政や関係機関との連携を密にし、必要な情報を提供している</p> <p>区立直営園であり、保育課には延長保育の実施状況、欠席児童、消耗品購入などの月報や感染症、下痢嘔吐などの毎週報告など、運営に関してさまざまな報告、連携をしている。地域の児童館が事務局になっている、子育てネットワークの一員として、小学校、児童館、中学校、小学校PTA、青少年育成委員会、民生児童委員などと情報交換している。同ネットワークの行政連絡会のメンバーとして、小学校・中学校、図書館、保健センターなどとも連携している。</p> <p>見学の問い合わせには随時対応し、園の雰囲気を知ってもらっている</p> <p>見学の問い合わせには随時対応しているが、保育園の申し込みが始まる9月から10月に3回ほど見学会を実施している。園長と主査が園内を案内し、個別相談にも丁寧に応じている。入園希望の保護者は、1歳児保育の希望が多い。また、地域の方々が利用できる「ともだちひろば」への参加もすすめ、子どもとホールで遊んだ後、園内見学を行ったりもしている。また、身体測定を行ったり、栄養士が離乳食などについての説明を行っている。</p>		
サブカテゴリ2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評		
入園説明会などで、重要事項や園のルールを説明している 新入園児健康診断・面接時に、保護者に入園説明会参加の通知を出している。入園説明会では「園のしおり」や「園ご利用にあたって(重要なお知らせ)」を基に、重要事項や園のルールなどを説明している。保護者に準備をしてもらう物も、図などを使ってわかりやすい工夫している。また、「写真に関する同意書」「園生活の説明に関する同意書」などについて説明し、同意のうえ署名をいただいている。アレルギーに関する内容は、医師の診断書をもとに丁寧に話し合い、確認している。		
慣れ保育の期間を設け、スムーズに園生活を送れるよう支援している 家庭と異なる集団の環境と周りの子どもや保育士に徐々に慣れていくために慣れ保育を実施している。乳児は、初日は保護者と一緒に過ごしてもらい、職員は遊びや食事の様子を見せてもらい、食べ方などの個々の子どもの情報を収集している。アレルギーの子の保護者には、個別に除去の方法など説明し、安心してもらっている。慣れ保育は、1週間位とし、保護者の復帰時期等を考慮し、相談して決めている。また、乳児はゆるやかな担当制をとり、子ども・保護者共に安心できる保育士との信頼関係を築き、そこから人間関係を広げられるよう配慮している。		
卒園・転園しても園の行事に招待している 引越などで退園する場合は、本人の作品などを渡している。保護者には新しい子育て環境に対する心配事などを聴き、いつでも相談に応じることを伝え、卒園・転園しても園の行事に招待している。卒園の場合は、5歳児の春の保護者会で保育所児童保育要録を小学校へ提出する旨を保護者に伝えている。また、保護者から、入学までの心構えや身につけておいたほうがよい生活習慣などの気がかりなことなどの相談に応じている。		
サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3の講評		
<p>子どもの発達に関する姿を情報収集し、指導計画や児童票に記録している</p> <p>入園時には健康診断と面接を実施して、事前に保護者に記入してもらった「家庭連絡票」や「入園までの生活状況」、「新入園児健康調査票」などを基に、子どもの心身の発達状況や成育歴、入園までの生活状況、食事の状況などを聴き取り、把握に努めている。入園後は、毎月、個々の子どもの姿と配慮を指導計画や児童票に細やかに記録しており、子どもの姿や成長を把握し保育に活かしている。また、日々の保育と個々の子どもの姿、エピソードなどを連絡帳や貼り出し日誌などに記載し、保護者と共有している</p> <p>個々の子どもの発達過程や状況を十分踏まえ、職員皆で検討し、保育計画を作成している</p> <p>個々の子どもの発達過程や状況を十分踏まえ、保育課程に基づいて、年間指導計画を立て、さらに月案・週案を作成している。計画には、子どもの実態に即した具体的なねらい及び内容を設定している。月初に2日間の月案の打ち合わせを行い、前月の振り返りと今月の保育の検討を行い、さらに前期・後期1回ずつ保育の振り返りを行い、次に活かしている。保護者には、春の保護者会の時に1年間の保育の見直し、クラスのねらいなどをわかりやすく説明している。また、個別面談でも子どもの園での様子を伝え、保護者と共有している。</p> <p>職員間で情報共有し、各種記録やミーティングで共有し、保育に活かしている</p> <p>昼のミーティングで、子どもに関わる状況を報告し、職員間で情報共有し、保育に活かしている。ミーティングに参加できない職員には、参加した職員が伝達している。また、ミーティングの内容は、園日誌に記載されており、職員は園日誌を確認してから、保育に入るようになっている。「児童票」などの個人情報、所定の書庫に保管され、施錠にて管理されている。また、保育士が「児童票」などを持ち出す際にはその都度、指定の場所から移動する旨を記載し、誰が持ち出したかが分かるようになっている。</p>		

サブカテゴリ-5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

7/7

評価項目1

子どものプライバシー保護を徹底している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-5の講評

さまざまな場面で、羞恥心に配慮した支援を行っている

羞恥心に対する配慮として、おむつ交換コーナーを使用し、オムツ交換を要する子どもは、周りから見えないようにしている。性差を感じてくる年齢では、トイレの使い方やドアのあるトイレの指導を行っている。特に、年長児には、ドアの使用をするように指導を繰り返している。また、失敗した子どもには、他の子どもに気づかれないように個室で着替えるなどしている。夏のプール時は、子どもの着替えやシャワーを室内で行っている。

子どもの権利を守るため、研修派遣やOJTで指導教育している

子どもの権利や虐待防止に関する研修に派遣して、その理解を深めている。「杉並区立保育園保育実践方針」に基づき、子どもの気持ちを大切に保育に努めている。子どもへの対応や保育内容が子どもにとって適切であるかどうかなどは、担任同士及び職員会議などを通して、確認し合っている。また、パート職員に対しても、区主催のパート職員対象の研修に派遣したり、OJTなどを通して、子ども一人ひとりを尊重した保育に努めている。

巡回相談・訪問支援などを活用して、配慮を要する子の保育を園全体で学んでいる

食事や成長に関して気になる子どもに対して配慮を行っている。アレルギー児に対しては、入園当初より医師の診断書を基に献立を保護者に確認した後に栄養士、調理員らと確認し食事の提供をしている。食事を提供する際は、専用のトレーを使用し、アレルギー内容の記載事項と口頭確認をするなど、その都度、確認している。成長において気になる子どもに対しては、関係機関の指導を受けながら専門家の訪問支援や巡回相談を受け、連携して行っている。

サブカテゴリー6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

11/11

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

業務に必要なマニュアルを用意している

「危機管理マニュアル」などの区立園共通のマニュアルが整備されている。また、園独自の「業務マニュアル」を作成し、職員個々に配布している。「業務マニュアル」は、当園で働くうえで必要な事項を網羅している。定例の職員会議や年度末反省の時などに「業務マニュアル」を使って、振り返りをし、保育に活かしている。また、「杉並区立保育園保育実践方針」も職員個々に配布し、適宜、確認し合っている。

区主催の実務研修への派遣や研修報告などを通して、スキルの共有化を図っている

区が企画した実務研修や、研究会の研修などにバランスよく参加できるようにしている。研修後は、打合わせで報告し、職員間で共有している。また、ミーティングや職員会議などでも、保育内容や職員の動き・動線、業務への姿勢などについて、振り返り、改善につなげている。プロジェクトチームを設け、子どもの成長や生活内容を豊かにする話し合いをしている。各会議に参加できなかった職員やパート職員にも、議事録や口頭などで周知し、全職員で共有するようにしている。

より良い保育内容を提供するために、保護者と共に改善に向けて話し合っている

職員は、より良い保育内容の提供ができるように子どもと保護者への理解を深めるよう努めている。子どもの遊びと生活を豊かにする環境整備を行っている。子どもが周りを見て、考え、各自が選択できるような遊びの環境設定について検討している。また、保護者の意見を聞く機会を日常生活や保護者会で積極的に行っている。連絡帳や登降時、電話などを通して保護者の意見や意向などを把握し、保護者と話し合い、よい保育の提供に努めている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつキ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>家庭と園の両面から子どもの全体的な姿を把握して保育している</p> <p>入園までの生活状況、保育状況、健康状態、発育及び発達の記録、入園後の成長記録などを収録した児童票を基に、保育を行う中で、現在の発達状況を把握することに努めている。また連絡帳、登降園時の保護者とのやりとり、個人面談などを通じて家庭における子どもの様子を知り、家庭と園の両面から子どもの全体的な姿を把握するようにしている。現在の子どもの生活する姿から今後の育ちを見通し、指導計画を作成し保育を行っている。</p> <p>子どもの主体的な活動が豊かに展開されるよう保育環境を整えている</p> <p>乳児は月齢や個人差を考慮し、緩やかな担当制をとり、少人数保育を心がけ、1歳児は2グループに分かれ過ごしている。室内には手作りおもちゃ、ままごと用キッチン、お人形、積み木など発達や年齢に応じた様々な玩具を整えている。園庭には、畑やプランターなどを整備し、植物に触れる環境がある。また砂場用玩具、マルチパーツ、ウッドブロック、固定遊具など園庭での遊びを豊かにしている。廊下には、落ち着いて絵本を読める場を作っている。またカブトムシ、ヤゴの飼育など子どもの活動が豊かに展開されるように保育環境を整えている。</p> <p>子ども同士のトラブルは、それぞれの気持ちを尊重した対応をしている</p> <p>発達の過程で生じる子ども同士のけんかや噛みつキが起きた時は場所を変えて落ち着いて話ができる環境を作り互いの気持ちを汲んで保育士が代弁したりしながら、関わり方を知らせている。噛みつかれた子どもの保護者にはその時の状況を話し謝罪している。噛んだ子どもも保護者にも状況を伝え、噛みつキを防止できなかったことを謝罪している。子どもは成長していく中でけんかやトラブルなども経験しながら友だちとのかかわり方を学んでいるが、できる限りけがの無いよう保育内容を見直し、工夫しながら保育するようにしている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登降園時には子どもの様子を保護者と保育士が丁寧に伝え合っている

登園時に保育士が視診を行っている(機嫌・顔色・表情・全身状態など)。乳児は連絡帳で前日の家庭の生活を把握し、一日の生活の中で個別に配慮している。幼児は「連絡メモ」を活用し、子どもの様子・連絡事項を保護者と共有している。連絡メモ用紙に記入した際は手渡しをしている。重要な連絡事項(子どもの健康状態や送迎に関わる)は担任または朝保育の正規職員に口頭で伝えている。降園時には、担任がその日の出来事を視診票に記録し、当番保育士に引き継ぎ、保護者に伝えている。また子どもの様子を口頭でも伝えている。

園と家庭で連携を取りながら、食事や排泄など基本的生活習慣の習得を進めている

園での生活を通して、食事・排泄・着脱などの基本的な生活習慣を身に付くようにクラスの指導計画や個人の計画を作成し実践している。2歳児、4月の指導計画には、「保育士と一緒に脱いだり、着ようとする」保育士の配慮には、「その子のやりたい気持ちやしようとする姿を受け止め、ほめたり認めてあげたりする。できないところは、一緒にしながら個々に合わせてやり方を知らせていく」とし、一人ひとりの状態に合わせて、基本的な生活習慣の習得を進めている。園での子どもの姿は、連絡帳、クラス便りで保護者に伝え連絡を取りあっている。

年齢や体調、家庭での生活リズムなどに配慮して午睡・休息がとれるよう配慮している

午睡の時間は、乳児は昼食を食べ終わった子どもから保育室で、幼児はホールへ行き午睡をしている。15時に目覚めている。午睡・休息は、心身の疲労や、緊張を緩和するため、基本的な時間はあるが必要に応じて布団で眠れるようにしている。1歳児は必要に応じて午前睡をしている。また乳児は、個々の睡眠のリズムや癖を把握し、安心して入眠できるようにしている。5歳児は就学に向けて午睡・休息の時間などに配慮するようにしている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

遊具の充実や遊び込める時間や空間を保障し子どもの遊びを豊かにしている

各クラスの保育室には子どもの作品や季節の装飾などを掲示し、明るく温かな雰囲気をつくっている。保育室には発達や年齢に応じた様々な玩具や絵本などを設定している。また年齢の発達や好みに合わせて玩具の入れ替えをしている。各クラスには、遊びごとのコーナーを設け、子どもが自分で遊びたい玩具を手にとれる位置に置き、落ち着いてじっくり遊べるようにしている。一人遊びや少人数での遊びができるようにホールや廊下も活用している。子どもの自主性、自発性を尊重し、遊び込める時間と空間を保障し、子どもの遊びを豊かにしている。

集団的な遊びの中で友達と一緒に遊ぶ楽しさを経験している

集団遊びは興味を持った子どもから始め、時間をかけて楽しさや必要性を知らせている。4歳児の指導計画には「友達と一緒にがうれいと思える経験がたくさん持てるよう、必要な時には仲立ちをしていく」としている。行事「みんなであそぼう会」では競技や踊りを楽しんでいる。5歳児は体操、踊り、なわとびやリレーなどをしてみんなで揃った時の気持ち良さ、競争やルールがある面白さを楽しんでいる。日常保育の中では氷鬼、中当てなどさまざまな集団遊びをしている。遊びの中で友達と関わり、遊ぶことが大好きな子どもに育ち合っている。

園庭、園外活動の中で身近な動植物や自然事象に触れる機会をもっている

園庭や近隣の公園で、花や落ち葉、虫などと出会い自然に触れている。園庭の畑やプランターで季節の野菜、花に触れ、夏にはカブトムシ、ヤゴ、アオムシなどの昆虫と出会っている。散歩先の川でアヒル、カモ、シラサギを見つけ、大きな木がある公園ではかくれんぼをして遊んでいる。また秋には、どんぐり拾いをして楽しんでいる。地域の農家の畑でさつま芋掘りをして、掘った芋の蔓でリースを作り、部屋の装飾にしている。散歩、遠足、季節の行事などを通して季節を知り、五感を使って季節を感じとることができるようにしている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

行事はそれまでの過程を大切に考え子どもと共に作り上げるようにしている

行事中心の保育にならないよう行事の数は精査している。たなばた・笹おくり、新年のつどい、節分、ひなまつり、こどもの日、お楽しみ会、みんなであそぼう会、おおきくなったね会などを行っている。各クラスでその日の誕生日をお祝いしている。誕生日は名前と年齢を紹介され、カードのプレゼントや、ワッペンをつけてもらう。ワッペンを見た友達からお祝いの声をかけてもらいうれしい一日になっている。新年のつどいは、けん玉、こままわし、すごろく、たこあげなど伝承遊びをみんなで楽しんでいる。

「みんなであそぼう会」の行事は当日が目的ではなくきっかけとらえて取り組んでいる

「少し難しいことに挑戦し達成した喜びで自信をつける」「クラスで一つのことをやり遂げる経験を通してクラスの一員としての自覚を持つ」などのねらいを持って行っている。歌、体操、かけっこ、キッズソーラン、リレー、バルーン、跳び箱、玉入れ、親子競技、親子ダンスなどを行っている。年長児はみんなで話合っ、はじめの言葉、おわりの言葉、前で体操をする係りを分担した。行事後も他のクラスの活動に刺激を受け、引き続き遊びの中に取り入れている。あそぼう会をきっかけに運動遊びも盛り上がっている。

保護者へお便りを配布し、行事の取り組みの経過や子どもの様子を伝えている

お便りには、「みんなであそぼう会の行事は幼児クラス対象に行っている。子どもと保護者がふれあい、身体全体で楽しさを共有できる行事にしたいと考え、クラスごとに親子競技を設けている。子どもの姿を見るときは結果だけでなく、そこに至るまでの心と身体の成長を見て感じてもらえる行事にしたい」と伝えている。また各クラスの取り組みの様子や見どころを伝えている。年長児クラスは竹馬や跳び箱、大縄の複数人跳び、リレーなどみんなで協力して挑戦した。行事後の子どもたちはやり遂げた喜びが自信になっていることを保護者に伝えている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

保育時間の長い子どもがくつろげる環境の中で楽しく過ごしている

保育室のマットの上で横になりゆったりとくつろいで過ごしている。廊下にどんぐり文庫を設け、絵本を読んだりくつろげる空間にしている。幼児は気持ちを落ち着かせ、ほっとできる空間にもなっている。子どもたちが年齢に応じて、一人ひとりが好きな玩具で遊べるように設定している。汽車・積み木・人形など温かみのある木製の玩具が数多くあり、また手先の遊び、折り紙、パズルなど様々な種類の構成遊びを楽しみ過ごしている。

合同保育の中で、異年齢の子どもたちが安心して遊べるように配慮している

当園は朝・夕保育、延長保育を実施している。子どもの様子を視診票で当番保育士に細かく引き継いでいる。子どもたちが朝夕合同保育の中にあっても子ども同士が安定した関係の中で、共に過ごすことの楽しさを味わえるように配慮している。年齢の小さい子は大きい子の遊びを興味津々でよく見ていて、大きい子が作った積み木などの作品を分解して楽しむ姿が見られる。大きい子は小さい子の様子をやさしく見守り、思いやりの心が育まれている。保育士は大きい子と小さい子の関わりを、意識して大切にしている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもたちが楽しい雰囲気の中で、落ち着いて食事をとれるように配慮している</p> <p>体に合ったテーブル、椅子で食事を摂れるように、個々に合わせて足置きや滑り止めなどで調整し配慮している。テーブルには子どもたちが育てた花を飾り楽しい雰囲気の中で、食事をしている。筍ご飯、ちまき風おにぎり、七夕献立、お月見団子、七草粥などの献立を通し、季節を感じている。行事食、お楽しみ会食、お別れ会食、お弁当散歩・おにぎり散歩、焼き芋会など子どもたちの食事体験を豊かにしている。子どもたちが友達と一緒に食べる楽しさを味わえるように配慮している。</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもには、アレルギー除去食を提供している</p> <p>食物アレルギーを持つ子どもの保護者の申請により除去食の対応をしている。食物除去連絡用献立表、食材の分量を記した縮小献立表を渡し、園長、担任、栄養士、調理師が毎月確認し合っている。昼ミーティングで、各クラス保育士が確認している。アレルギーを持つ子の食事は名札の付いたトレーを使用し、受け渡しは調理担当者と保育士で該当児名、除去内容を確認して誤食を防いでいる。子どもの体調に応じ調理の工夫をしている。</p> <p>年間食育計画を立て、家庭、保育士、栄養士、調理師が連携して食育に取り組んでいる</p> <p>年長児は栽培したい野菜を話し合い、散歩に行きナス、ミニトマト、キュウリの苗を買ってきて、園庭の畑やプランターで栽培している。またオクラ、大根なども栽培している。年長児は土おこしや当番で水やり、年少・年中児も水やりをして育て、収穫の喜びを体験している。野菜は、調理してもらい、給食で味わった。植物の生長の様子を見る、触れるなど植物に親しんでいる。またそらまめのさやむき、おにぎりを作るなど調理活動をしている。栽培、収穫、調理等の体験や栄養士の食べ物の話を聞くなどを通して食べる喜びや食に対する意欲を高めている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

看護師による健康教育を実施し、手洗いやうがいなどが身につくようにしている

看護師の配置はないが応援看護師による健康教育を計画的に実施している。保育士と連携を取り、手洗い、うがい、歯磨き、鼻のかみかたなどを分かりやすく伝えている。子どもたちは、手洗い、うがいの大切さを学び、毎日の生活の中で習慣づけている。散歩の時は、道路の歩き方や横断歩道の渡り方などを知らせている。公園では、遊具の使い方や行ってはいけない場所を伝え、子ども自らが危険なことを知り安全に気をつけて遊べるようにしている。室内や園庭でも安全に遊ぶためのルールを守って楽しく遊べるようにしている。

毎月の身体測定や嘱託医の定期健診などにより健康を守っている

嘱託医による定期健診を年2回実施、幼児は耳鼻科健診、眼科健診、全園児歯科健診、ぎょう虫卵検査を実施している。また身長、体重測定を毎月実施している。健診や検査、測定の結果を「けんこうカード」に記入し、保護者に渡し、押印(サイン)後、園に返却してもらっている。園での与薬は原則として行っていない。慢性疾患等のため、薬なしでは園での健康な日常生活ができない場合に限り、薬剤の内容・与薬方法等を医師に記入してもらった「与薬申込書」を薬と一緒に持ってきてもらい、保護者の代理として与薬を行っている。

子どもの健康状況を把握して保護者と連携して健康維持に努めている

健康教育の中で、体の働きやその大切さを伝え、また風邪の話をし、手洗い、うがいを徹底して行い、清潔の習慣が身につくように指導している。保育目標「じょうぶな体を持つ子ども」を目指し、全身を使った運動(リズム、体操、固定遊具での遊び、縄跳び、巧技台など)を実践している。保護者と「けんこうカード」で子どもの健康状況を把握している。また毎月保健だよりを配布し、健康についての情報を発信している。感染症が発生した時は園内3か所に貼り出し、周知している。登園時の視診、昼寝時の午睡チェックをして健康維持に努めている。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者同士が交流できる機会を設けている

保護者会を年2回実施している。日程は4月初めに知らせ日程調整し参加しやすくしている。保護者会には園長、主任、栄養士も参加している。各クラスで内容を決め、担任が子どもの姿、発達や保育内容を説明している。1歳児クラスは給食試食会、栄養士が話をしている。また各クラスは懇談及び情報交換し、他の家庭の様子を聞くことで、同じような悩みを持っていることを知って気持ちが楽になったり、参考にしたり、保護者同士が交流している。5歳児は小学校の教師の話を聞く機会を設け、就学に向け親子共に安心できるようにしている。

登降時の会話や連絡帳などを通して保護者と職員の信頼関係を築くよう心がけている

登降時に保護者と会えた時には積極的にコミュニケーションを取って子どもの様子を伝え合いながら共に成長を喜び合えるような関係を作るよう心掛けている。子どもの日々の家庭での様子、園での様子を連絡帳で伝え合い、個人面談、保育参加、保育参観、保護者参加行事を通して子どもの育ちを共有している。園だより、クラス便り、貼り出し日誌等で子どもの生活や遊び、保育内容など子どもに関する情報を細やかに保護者に伝えている。保護者と職員が子どもの育ちを細やかに日々伝え合い信頼関係を築くよう心がけている。

保護者の養育力向上のため、保護者会、保育参加、保育参観の参加を促している

保護者会、保育参加、保育参観・みんなであそぼう会(行事)への参加を積極的に呼びかけ、子どもの姿を知ってもらう機会を作っている。保護者会後親子で一緒に過ごし、園での遊びや成長を知る機会になっている。保護者会での話を聞き、「意識して早寝早起きをするようになった」「基本的生活習慣の習得は、丁寧に教える必要があることを意識し、子育てに生かしている」などの感想があった。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>高齢者施設や図書館、小学校、児童館などと交流し、多様な体験をしている</p> <p>年長児が小学校、保育園、地域の施設などに行事のポスターやプログラムを届け、お誘いしている。年長児は高齢者施設のお茶会に参加し、お茶をいただいた。小学校の写生会で消防車を描く体験やお招き給食などで交流している。また図書館で本を選ぶ体験や幼児はエコ教育で清掃車の仕組みの見学、ごみを収集してもらう体験をしている。小規模保育室に夏の水遊びや園庭遊びの場を提供し、定期健康診断(眼科・耳鼻科)を受け入れ交流を深めている。他園の年長児と公園で集団遊び(しっぽとりなど)をして、大勢で遊ぶ楽しさを味わっている。</p> <p>地域の高齢者施設、子供園、保育園、小学校との交流が盛んである</p> <p>高齢者施設、幼稚園・子供園、保育園・小学校や小規模保育園などの交流が盛んである。園の行事(みんなであそぼう会)に高齢者施設の方を招待し、見に来て頂いた。また年長児が施設を訪れ、歌や踊りを披露し、一緒にゲームなどをして交流を深めている。地域の方に絵本の読み聞かせをして頂いている。夏は中学生の体験学習やアルバイトの学生に遊んでもらったり、着替えなどの援助をしてもらったりしている。子どもたちは地域の人々と交流し生活の幅を広げている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル①	小学校、子ども園、高齢者施設など地域の施設との交流が盛んである	
内容①	<p>地域の高齢者施設の方々を園の行事に招待している。また、年長児が施設を訪問し、歌や踊りを披露し、高齢者から折り紙のプレゼントや歌を歌ってもらい、交流を深めている。また施設のホールで行うお茶会にも参加している。年長児は小学校の見学、写生会、給食試食会など地域の幼稚園・保育園・小学校と交流する機会を多く持っている。年長児は図書館で本の選択体験、幼児はエコ教育で清掃車のごみ収集体験をしている。2歳児から5歳児は地域の方に絵本の読み聞かせをしていただいている。子どもたちは、地域の人々と触れ合い、生活の幅を広げている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-3	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している
タイトル②	保育の質向上を目指し、園内研修の充実に取り組んでいる	
内容②	<p>園内研修は、子どもの成長発達を確認し、指導計画を立案、実践するために行っている。研修は、主として職員間の討議を重視し、報告を得て丁寧に実施している。また、年間の研修テーマを決め、担当者が中心となり、子どもの実態と保育の内容の点検や確認を行う。職員は、意見を出し合い、会議を経て、指導計画と保育実践の向上を図っている。例えば、保育課程を全職員が熟読し、子どもの姿との齟齬の確認や保育実践を経て、次の課題を決め、保育の質向上を目指している。現在、事例を出し合い、考察を重ねるなど、園内研修の充実を進めている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル③	廊下にどんぐり文庫を作り、ほっとできる場所をつくっている	
内容③	<p>廊下にどんぐり文庫を作り、絵本を読める空間になっている。保護者への貸し出しも行い、利用者も多い。狭い空間なので、少人数で利用し、子どもがほっとできる場所にもなっている。乳児は、少人数保育を行う時、分かれて遊ぶ場所として活用している。幼児は、クラスから離れて少し落ち着きたい時や一人になりたい時に利用できる良い空間になっている。</p>	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう環境を構成している
	内容	園庭には畑やプランターを整備し、動植物や土、砂、水を遊びに取り入れている。また、固定遊具やウッドブロック、タイヤ、マルチパーツなどさまざまな遊具を整備し、園庭での遊びを豊かにしている。各保育室にはコーナーを設定し、多様な玩具を充実させている。積み木を中心とした木製の玩具が質、量ともに豊富である。幼児はホールで積み木を使った「積み木で遊ぼう会」で自分の思ったものを作り、楽しさや充実感を味わっている。子どもたちは、保育士との安定した関係のもと、さまざまな環境を通して、生活や遊びを豊かに展開している。
2	タイトル	年間食育計画を立てて、野菜の栽培や調理活動に取り組んでいる
	内容	「食を営む力の基礎を培う」「食を通して五感を育てる」を目指し取り組んでいる。園庭の畑やプランターでオクラ、ナス、ミニトマトなどの野菜を栽培している。幼児は土おこしをして野菜を植え、水やりなどの世話をしている。世話をすることで、その生長の変化に気づき、大切に作る気持ちや親しみを持つようになっている。野菜を収穫し、喜びを味わっている。収穫した野菜は調理してもらい給食で味わっている。またそら豆のさやむき、おにぎりを作るなど、調理活動も行っている。これらの活動を通じて、食に対する意欲を高めている。
3	タイトル	登降園での会話、保護者会、保育参観や参加を通じて、保護者との共育をすすめている
	内容	保護者との共育をすすめるため、登降園時での会話、保護者会、個別面談や保護者参観、「張り出し日誌」などを活用している。職員は、保護者に子どもの成長を伝え、子どもの姿を保護者と共有している。また、年間2回開催している保護者会では、保育内容の充実を図るために、率直な意見交換が行われている。職員は話しやすい雰囲気と会話を心がけ、保護者は保育参観や保育参加を通して、子どもの成長を確認している。利用者調査でも、「子どもの気持ちの尊重」「職員の言葉遣いや態度」などの設問では、回答者の90%以上が満足と答えている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	苦情解決制度の仕組みについて、さらなる周知を期待する
	内容	「苦情解決制度」を利用できることを、園のしおりに掲載し、入園説明会で伝えている。また、園内に「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを掲示している。しかし、利用者調査では、外部の苦情相談窓口の周知に関して、肯定的返答35%、消極的否定的返答42%であった。また、保護者からは「全く知らない」などのコメントも寄せられていた。直接苦情や意見を職員に言いづらいときに利用できるのが苦情解決制度である。その仕組みについてさらなる周知を期待する。
2	タイトル	ヒヤリハット報告用紙を活用し、事故予防につなげていくことを期待する
	内容	ヒヤリハットについては、所定の書式があるものの有効に活用されていない。園舎内・園庭での危険に気づいた際は口頭で報告し、園日誌に記録に残している。リスクは、子どもの怪我や傷だけでなく、個人情報管理も含めて、日常生活の中に潜む小さなリスクを予測し、事故未然防止につなげていくためにも、ヒヤリハット報告用紙に記録して、有効に活用していくことが望まれる。
3	タイトル	職員研修計画を策定し、計画に沿った研修派遣を行うことを望む
	内容	区主催研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで職員育成を行っている。区主催の研修は、階層別職種別テーマ別となっているため、該当する職員を派遣しているが、それ以外の場合は、希望者を募り、主査・園長が本人に期待することなどを考慮し、研修派遣している。今後は、職員個々の希望を反映し、また、職員間のばらつきがないよう、年度初めに職員研修計画を策定し、計画に沿った研修派遣を行うことを望む。

5. 井草保育園

井
草
保
育
園

[ver.2]

調査対象

平成29年10月の配布時点で利用している在園児96名の保護者82世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

96
82
82
67
81.7

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」4名(6%)、「母」51名(76%)、「父母一緒に」1名(2%)、無記入11名(16%)。
 ・総合的な感想は「大変満足」51名(76%)、「満足」14名(22%)、「どちらともいえない」1名(1%)、無記入1名(1%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の98%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心の持てる活動」、問3「食事」、問8「家庭と園との信頼関係」、問10「職員の言葉遣いや態度」、問11「緊急時の対応」、問13「子どもの気持ちの尊重」、問15「保育内容の説明」であった。
 ・総合的な感想では、「クラス担当の先生のみでなく、全職員が手厚く子どもを見てくれていると感じる」「異年齢の園児たちとの日常的な交流もあり、(子どもは)アットホームな雰囲気の中で安心して過ごせている」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	65	0	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の97%で、子どもの心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「たくさん身体を使って遊んだり、自然にも触れ、友だちとの関わりもあり、色々な経験ができています」「よく考え練られた活動プログラムになっていると思う」などのコメントが記載されていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	63	1	0	3
「はい」と返答した方々は回答者の94%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「たくさん友だちや先生の名前を言ったり、色々な出来事を話したりしているのを聞いていると、充実した園生活が送られていると思う」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	62	2	1	2
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答している方からは「家では食べない野菜を、園でなら食べている」「量が足りないと感じる子にとっては、おかわりができると良いと思う」などのコメントが記載されていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	56	8	1	2
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、戸外遊びに関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「特に今年は、じゃがいもの芋掘り体験ができて良かった」、「どちらともいえない」と返答された方からは「保護者と子どもと一緒に参加できる楽しそうな行事があったらいいと思う」などのコメントが記入されていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	50	4	0	13
「はい」と返答した方々は回答者の75%で、保育時間の変更に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「公立保育園が私立に移行するのであれば延長保育の時間に関して、保護者ニーズを取り入れて欲しい」などのコメントが記入されていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	59	4	1	3
「はい」と返答した方々は回答者の89%で、安全対策に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「建物のメンテナンスをもっとやって欲しい」「毎月、災害時の避難訓練をしっかりとやっている」などのコメントが記入されていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	51	12	1	3
「はい」と返答した方々は回答者の76%で、行事日程の設定に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「行事開催を早めに通知してもらっている」などのコメントが記入されていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	61	4	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の91%で、家庭と保育所との信頼に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「担任の先生のみならず、園長・主査・看護師の先生まで、誰とでも相談でき、信頼関係がある」「子どものこと子育てのことなどで、丁寧に話を聞いてもらっている」などのコメントが記入されていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	58	7	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の87%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	62	3	0	2
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	61	4	0	2
「はい」と回答した方々は回答者の91%で、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と回答された方からは「親から見て軽いケガであっても、しっかり手当てなどしてもらっている」「子どもの体調面でも様々な配慮もあり、信頼できる対応をしてもらっている」などのコメントが記入されていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	57	6	0	4
「はい」と回答した方々は回答者の85%で、子ども同士のトラブル対応に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と回答された方からは「園児たちそれぞれにしっかり話をし、いけない部分は厳しい態度で接し、受け止めるところは受け止めてくれる姿勢が見えるので、安心できる」などのコメントが記入されていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	64	1	0	2
「はい」と回答した方々は回答者の96%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	57	4	0	6
「はい」と回答した方々は回答者の85%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。「非該当」(わからない)と回答された方からは「今までに保育園でプライバシーに関して困ったことがないため、わからない」などのコメントが記入されていた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	61	4	0	2
「はい」と回答した方々は回答者の91%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「どちらともいえない」と回答された方からは「多くの先生の説明はわかりやすい」などのコメントが記入されていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	55	6	0	6
「はい」と回答した方々は回答者の82%で、不満や要望への対応に関して高い満足を得ている。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	30	11	4	22
「はい」と回答した方々は回答者の45%、「どちらともいえない」16%、「いいえ」6%、非該当・無記入33%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(0000)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(00)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(000)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <input type="radio"/> 非該当

カテゴリー1の講評

職員会議などで、園で大切にしたいこと・力を入れて取り組むことなどを話し合っている

「児童憲章」「園目標」「保育目標」を事務室に掲示し、職員へ意識づけを図っている。「園目標」「保育目標」は重要事項にも記載されているため、玄関に掲示し、保護者へ周知している。児童憲章に基づいて、園目標・保育目標を作成しており、「園のしおり」にも明記し、職員個々に配布し、説明している。職員会議などの機会を通して、園目標や保育目標などを確認し合い、共通認識をもって、日々の保育をすすめていけるよう努めている。また、保育計画を策定する際は、当園で力を入れて取り組んでいくことなどについて確認し合っている。

園長は、保護者対応などにおいて、リーダーシップを発揮し、園運営を行っている

園長は、保護者対応や危機管理、職員の人材育成などにおいて、真摯に取り組んでいる。園長は、「子どもの様子は、園だけの生活だけでなく、24時間を視野に入れて、家庭(保護者)と共に生活リズムを整えていく」ことが大切であり、そのために、登降時の保護者とのコミュニケーションが必要であることを職員へ伝え、その理解の深化に努めている。また、新入園児説明会や保護者会などで、「子どもを真ん中に保護者と園で支えていくこと」を保護者に伝え、参加できなかった保護者には、個別に担任や園長がフォローしている。

毎日の昼のミーティングや職員会議などで園の決定事項を伝え、共通理解を図っている

「係分担表」を作成し、職員個々の役割・責任を明確化している。毎日、昼のミーティングを実施し、翌日の職員体制やアレルギーチェック、ヒヤリハット・怪我などについて報告し、共有化している。園の重要案件は、職員会議で検討、決定している。職員会議や定例打ち合わせを通して、決定事項を伝え検討して共通理解を図っている。また、情報が全員に伝わるよう各クラスの職員のコミュニケーションを密にしている。園の決定事項を保護者に伝えるときは、事務所だよりやクラスだより、掲示などを通して、わかりやすく伝えるよう努めている。

カテゴリ-2		
2	経営における社会的責任	
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

「児童憲章」を事務室に掲示し、保護者や職員に周知している

すべての児童の幸福を図るために定められた児童の権利宣言である「児童憲章」を事務室に掲示し、職員に周知している。「杉並区立保育園保育実践方針」を使って、保育の振り返りを行っている。パート・アルバイト職員に対して「区立保育園で働くにあたって」を配布しており、同書面には「仕事をしていく上で知りえたことは、絶対に外部へ漏らさないでください」と記載されており、入職時に守秘義務について説明している。また、その書面について正規職員にも伝え、パート、臨時職員の立場を理解するよう指導している。

地域の子育て支援事業として、「遊ぼう会」「園庭開放」などを実施している

地域の子育て支援事業として、「遊ぼう会」を企画実施している。0歳児の利用が多く、看護師が身体測定をしている。また、園庭開放も行っており、地域の小規模保育所、認証保育所の園児がいつでも遊びに来られるよう、声をかけている。清掃事務所が企画実施している環境学習（ごみパックン）の際には、地域の私立園の子どもたちも参加している。耳鼻科・眼科・歯科健診の際に、私立園の子どもたちも一緒に健診している。その際、園庭開放を行ったり、相談に応じている。

障害児指定園であるため、必要に応じて見学だけでなく相談にも応じている

障害児指定園ということで、井草地域だけでなく、他地域や周辺他区の住民の見学のニーズも高い。そのため、問い合わせに答えるだけでなく、必要に応じて、見学や子育て相談にも応じている。また、依頼により、児童館へ看護師が出向き、乳児対象の身体計測や健康相談に応じている。近くの小学校との連携や、中学校の職場体験も積極的に受け入れており、地域との連携は良好で、年々深まっている。

3			カテゴリ-3	
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用				
サブカテゴリ-1(3-1)				
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
			8/8	
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)				
評価		標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)				
評価		標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)				
評価		標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している			<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評				
新入園児説明会や保護者会などを通して、苦情調整委員制度について説明している 苦情調整委員制度のポスターを玄関に掲示し、新入園児説明会や保護者会などを通して説明し、第三者へ相談できる制度の周知に努めている。保護者からの苦情・意見などは、連絡帳を活用して、受け付けている。保護者からの苦情や要望は、窓口になった職員から園長へ報告し、職員会議などで全職員で共有している。また、連絡帳に記載された保護者の意見・相談は、担任から園長に伝え、担任や園長が連絡帳にコメントしたり、個別に対応している。				
保護者に遠慮せず要望を言ってもらえるよう伝え、解決できることはすぐに応じている 保護者に遠慮せず要望を言ってもらえるよう伝え、保護者の意向にできる限り応じるよう努めていること、しかし、すぐに解決できること・できないこともあることを伝えている。保護者から自由な意見を聴くため、保護者会の実施後にティータイムの時間を設けている。年間行事予定表で日時が未定の場合は、決まり次第、園だよりで知らせ、保護者が参加しやすいように配慮している。				
地域関係者が集まる会合への参加などで、地域の子育てに関するニーズを収集している 地域の児童館・小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や、区内の認可保育園・認証保育所などの保育関係施設の長が集まる地域懇談会に参加し、保育に関する情報を収集している。また、見学者が来園した時に、地域の子育てに関するニーズを収集し、質問や要望の聞き取りをしている。区の広報誌や杉並区議会だよりなど、職員に回覧している。公立保育園のあり方については、園長会の内容や、保健福祉計画・保育のあり方検討会などから必要な情報を職員へ伝えている。				

カテゴリ-4

4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリ-1(4-1)

実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

11/11

評価項目1

取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当

評価項目2

多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当

評価項目3

着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4 / 4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-4の講評

園の組織目標を策定し、その目標達成に向けて取り組んでいる

現状の課題を分析し、「目標シート」に園の組織目標を策定している。「目標シート」には、目標や具体的な取り組みを定め、その目標達成に向けた実行体制を整え、その実践に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行い、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。また、保育計画に関しては、週ごと・月ごと・半期ごと・年度末に計画の反省を行い、次年度の計画に活かしている。

危機管理マニュアルに基づいて対応をしている

危機管理マニュアルに基づいて対応をしている。夏季プール実施前に保健所の職員から救命救急の講習を受けて、職員全員で水遊びの安全に努めている。年2回、防犯訓練を行っている。その際は、区危機管理室の安全パトロールの方に、さすまたの使い方の指導を受けたり、学校110番などについて職員間で再確認している。防犯カメラも各所に設置し、防犯対策の強化を図っている。感染予防対策として、実践的な研修を実施し、パート職員も含めて教育指導している。

「井草保育園 危機管理マニュアル」を作成し、安全確保に取り組んでいる

「井草保育園 危機管理マニュアル」を作成し、防犯対策、朝夕保育・延長及び土曜日の対応、避難訓練、事故発生時対応手順などの項目ごとに、的確かつ迅速に対応できるようにしている。毎月1回、地震・火災を想定した避難訓練を実施している。午睡・延長保育・散歩・土曜保育・異年齢児の合同保育などのさまざまな場面を想定した訓練を実施している。また、児童館・ゆうゆう館合同での避難訓練も実施している。

カテゴリ-5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを越えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ5の講評		
<p>区の「目標申告制度」に基づいて、職員個々が仕事目標を明確にして業務にあたっている</p> <p>区の「保育園職員人事異動基準」において、職種ごとに在園の年限を定め、適材適所の人材配置を行っている。また、区の「目標申告制度」に基づいて、職員個々が仕事目標を明確にして業務にあたっている。園長との面談を行い、目標への達成度を振り返る機会も設けている。また、随時、目標への達成度を振り返り、未達成の課題の状況把握や原因究明に努めている。クラス担当を決める際は、園児の状況や職員個々のこれまでの経歴や希望などを総合的に勘案して決めている。</p> <p>保育のスキル向上を図るため、向上リーダーを中心に園内研修に力を注いでいる</p> <p>保育のスキル向上を図るため、向上リーダーを中心に園内研修に力を注いでいる。園内研修は、年度当初に「自分が何を学びたいか？」についてアンケートを取り、職員が今何を課題にしているのかを探り、実践に活かせる研修となるよう取り組んでいる。研修にあたっては、少人数グループに分けて話し合いをしたり、意見を出しやすいようにクラスで打ち合わせを事前にするなど工夫している。また、園内研修で、日頃の保育の振り返りを行うことで、他クラスの状況を知り、保育の共有化を図ることができ、有意義な時間となっている。</p> <p>プロジェクトの活動もあり、職員個々が意欲的に園運営に参画している</p> <p>今年度、正規職員が6名異動になったが、大きな混乱はなく、円滑な園運営ができています。また、プロジェクトの活動もあり、職員個々が意欲的に園運営に参画している。新任職員には区の制度に基づいて育成担当者を配置し、仕事の不安や悩みなども相談できる環境をつくらせている。さらに園長・主査を中心に就業状況を把握し、ローテーション勤務の中で必要な有給休暇等の取得に努めているが、有給休暇の取得には差が生じている。子育て中の職員もいて、子どもの看護休暇を使い、育児中でも安心して働き続けられる職場環境をつくっている。</p>		

カテゴリ-7		
7	情報の保護・共有	
サブカテゴリ-1(7-1)		
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-7の講評		
<p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行い、記録類の管理を行っている。個人情報の取り扱いは十分に注意している。画像データの提供については、「データ持ち出し管理簿」を作成し、持ち出す際は、園長または主査に声をかけたうえで、持ち出し者名の記録をつけている。返却の際も同様に声かけと名簿チェックを行っている。</p> <p>杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の運営管理を行っている</p> <p>杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また、情報収集の目的・使用範囲などを明示するとともに、個人情報漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関して注意を徹底している。そのため、定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。「保育記録の保護者閲覧の流れ」を作成しており、保育記録の閲覧等申出書により、保育記録の閲覧を可能としている。</p> <p>個人情報漏洩等の事故がないように職員間で話し合いをしている</p> <p>正規職員に対して、入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している。個人情報漏洩等の事故がないように、職員会議などを通して、情報管理の方法や危機管理について話し合いを行っている。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、事前のオリエンテーションで個人情報保護遵守について説明している。</p>		

カテゴリ-8

8 カテゴリ-1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ-1で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

プロジェクトチームを設け、主体的に保育運営に参画している

・年1回、必要に応じて、自己申告シートをもとに職員個々へのヒヤリングを行い、それぞれの目標を確認し、それが組織目標の達成につながるよう取り組んでいる。また、職員会議での前期反省の際に、職員一人ひとりが改善に向けて活発な意見交換を行うことで、職員個々の気持ちも意見も活性化されている。
 ・今年度は正規職員3分の1の異動があったが、大きな問題なく、園運営を行っている。継続勤務の職員と新人職員・異動してきた職員が意見を出し合い、3つの環境プロジェクトのどれかの係を担当し、計画的に取り組んでいる。その結果、園庭は遊具の入れ替えができ、障害児特別室の壁を活用した遊びのコーナーを設置し、ホールは巧技台など使いやすくなった。身体づくりの活動ができるように遊具を検討中など、それぞれのプロジェクトが成果を出している。

サブカテゴリ-2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ-5で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

職員の育成計画を策定し、園全体で人材育成に取り組んでいる

・職員の育成計画を策定し、職員全体に知らせ、園全体で人材育成に取り組んでいる。入職後、3年目の職員は、毎月、学んだこと・振り返り・今後の課題をまとめており、保育者としての基礎を確実に習得し、自分の力を発揮できるようサポートしている。
 ・職員アンケートの結果からも、組織内の縦と横のコミュニケーションが活発で、風通しのよい組織づくりができている。「子どもの様子を共有したり職員が気持ち良く仕事をする事ができている」などの職員のコメントも寄せられていた。

サブカテゴリ-3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ-6で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

環境プロジェクトの取り組みにより、より良い保育環境作りが進んでいる

・区の農園活動に応募したことで、参加することができ、子どもたちがじゃがいも掘りやさつまいもの苗植え・収穫の体験をしている。
 ・環境プロジェクトの取り組みについて、計画を立てて進めるようにしたことで、効果的に進められるようになり、保育環境作りが進んでいる。
 ・3年前より父母会が廃止され、保護者の交流の場が少なくなったので、保護者会後に「ティータイム」の時間を設けて交流の場を提供している。その中で、保育園への意見要望も聴くように努めている。
 ・保護者会の参加率が高く、その後のティータイムの参加率も高いので、園長、看護師などが一緒に参加し、相談を受けたり、保護者の橋渡しをしている。

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育料収納率の向上に取り組んでいる

・区保育課として、給食調理用務業務の委託や指定管理制度による保育園の公設民営化によるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率の向上に取り組んでいる。調理用務業務委託については、平成28年度現在、公立園37園中24園で実施している。指定管理制度は平成28年度より1園増え、6園で導入している。また、保育料の収納率については平成27年度で98.15%(対前年比0.22%増)となっている。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

区保育課と相談し、慎重に取扱い、『画像データ提供』の保護者の要望に応えている

・前年度より『画像データ提供』の要望が全クラスから挙がり、前期の保護者会の場で同意書の作成について提案した。保護者会の欠席者にも保護者同士で連絡を取り合うなど、保護者全員で「見たい」という同意を得たうえで、保育課に、「画像データ提供申請書」を提出し、提供媒体の貸与の承認を得て、保護者の要望に応えている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリー1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	
		評点(〇〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の実望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
		<input type="radio"/> 非該当
	サブカテゴリー1の講評	
	区のホームページや広報紙、情報誌などで情報提供している 区のホームページ、広報紙、情報誌「保育施設利用のご案内」「杉並区保育施設MAP」などで情報提供している。ホームページの施設案内から、施設情報や保育目標、主な行事、園の特色、見取り図、子どもたちの遊んでいる様子の写真などを見ることができる。園の特色として、広い園庭には築山があり、ブランコなどの固定遊具や可動遊具で身体を動かして遊べ、畑で野菜を育てていることを挙げている。園の子育て支援事業「あそぼう会」の参加者に園の概要を手渡している。また、「あそぼう会」のチラシを作成して併設の児童館に置かせてもらっている。 区立直営園であり、区や併設の高齢者向け施設、児童館などと連携している 区立直営園であり、保育課には延長保育の実施状況、欠席児童、ゴミの入力、消耗品購入などの月報や感染症、下痢・嘔吐などの毎週報告など、運営に関してさまざまな報告や連携をしている。併設の高齢者向け施設(ゆうゆう館)と児童館・学童クラブとは合同避難訓練を実施し、園庭で運動会や焼き芋会を実施する時には、情報提供している。看護師は児童館の子育て支援事業に月1回、身体測定と子育て相談に協力し、時にはテーマに沿った講話をしている。また、園発行の園だよりを園医に届けている。 見学者用のしおりで園の概要や保育目標などを説明し、園内を案内している 見学者希望は電話で受け付けて、可能であれば他の人と同日でお願いするが、事情により単独でも受けている。見学者への対応は園長または主査が担当し、見学者用のしおりを手渡して、園の概要や保育目標、大切にしていること、園の特徴などを説明し、園内を案内している。区発行の「保育施設MAP」を希望される場合には渡したり、園の子育て支援事業「あそぼう会」のチラシでお誘いをしたりしている。また、区の「ふれあい保育事業」を行っている。	
	サブカテゴリー2	
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
	評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている	
		評点(〇〇〇)
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている
		<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している
		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p> 入園説明会を実施して、重要なお知らせや園生活のルールなどを説明している 入園内定者には、2月下旬に健康診断と面接を実施し、事前に記入してもらった「家庭連絡表」や「入園までの生活状況」などを基に聴き取り、保護者の事情や要望を把握し、保育時間を決めている。3月中旬の土曜日の午前中に、入園説明会を実施し、「園ご利用にあたって(重要なお知らせ)」、「井草保育園のしおり」などを基にして、園の概要や緊急時の対応、個人情報保護、保育目標、主な行事、保育園からのお願い、防災・防犯、健康面、準備してもらおう物などを、園長、主査、看護師から説明している。 </p> <p> 子どもや保護者の状況に合わせて、不安軽減のための慣れ保育を実施している 入園当初の「慣れ保育」は保護者の就労状況や子どもの状況に合わせて、進めている。1歳児からの園であり、集団保育経験児の入園が多くなっているため、初日は昼食まで保護者も一緒に過ごし、園の様子を知ってもらうようにし、2日目は子どもを昼食まで保育し、3日目からは保護者の就労や子どもの状況に応じて、保育時間通りに預かっている。初めての入園の場合には、おおよそ、1週間をめどにして、徐々に保育時間を延ばしていくようにし、園での子どもの様子を詳細に保護者に伝えて、安心してもらえるようにしている。 </p> <p> 転園や退園、卒園する場合、保護者の不安が軽減するように配慮している 退園や転園には、思い出の写真を付けた手作りのメッセージカードを渡して、保護者には、心配事はないかを聴き、いつでも話を聴く用意があることを伝えている。近隣地域にお住いの場合には、子育て支援事業「あそぼう会」にお誘いしている。卒園に際しては、小学校に保育所児童保育要録を提出することを保護者に伝え、就学に対する不安を抱えているような場合には、区の就学支援相談ができることを知らせている。 </p>		
サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2
保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3
子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ3の講評

子どもの心身の発達や生活の状況などを、児童票や保育日誌などに記録している
 入園時には園医による健康診断を実施して健康状態を把握し、「入園までの生活状況」などの提出してもらった書類に目を通して、子どもの心身の発達状況や成育歴、入園までの生活状況などを面接をして確認し、「食事調査」を基に食物アレルギーや離乳食の進み具合などを栄養士が聴いている。入園後は毎月の身体測定や年2回の定期健康診断、年1回の歯科健診、幼児対象の耳鼻科・眼科健診の結果は健康管理票や健康カードに記入し、日々の子どもの姿は保育日誌や保健日誌に記入している。児童票には、子どもの発達状況などを記入している。

指導計画(月案)は担任同士が保育を振り返り、作成して職員間で共有している。
 指導計画(月案)はクラスの担任同士で、子どもの様子やクラスの状況を振り返り、翌月のねらいや活動内容、配慮点などを話し合い、作成している。毎月、園児の個別の計画(配慮)も作成している。各クラスの指導計画は職員に1部ずつ配布して、事前に目を通し、午睡当番以外の職員全員が参加して、月2回指導計画会議を開催し、課題や提案などを出し合い、手立てについて意見交換して共有している。毎月の各クラスの保育のねらいは玄関ホールに掲示し、年間指導計画は事務室で閲覧可能である旨を伝えている。

平日は毎日ミーティングを実施し、子どもや保護者の変化などの情報を共有している
 月曜日～金曜日には14時45分からミーティングを実施して、各クラスからは、障害児認定の子どもの様子の報告、怪我、発熱などの子どもの状況、保護者に関する情報、ヒヤリハット報告をし、調理室からも参加して当日のおやつから翌日の昼食までアレルギー食の確認などを行い、打ち合わせノートに記録している。そのほか、翌日の職員体制についてもホワイトボードに記入し、確認している。その他、週1回の定例打ち合わせでは、園長会報告や行事計画、子どもの関する課題、研修報告などを行っている。

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー5の講評			
<p>個人情報の保護や子どもの羞恥心への配慮をしている 入園時に個人情報の取り扱いや、園でのビデオ撮影や写真撮影についてのお願いを説明して、了承を得ている。専門機関からの訪問支援などは、保護者の了解のもとで、子どもの情報を共有している。保護者から寄せられた子どもの写真データ提供の要望は、クラスの全保護者の了解を得て、家族で楽しむだけにしてもらっている。また、子どもの羞恥心への配慮として、おむつ交換や着替えは見えにくい場所で行い、プールやシャワーの時には、ついたてや囲いで目隠しをしている。</p> <p>子どもの個人差や発達の過程の違いを個性として受け入れ、尊重する保育をしている 園の理念に「一人ひとりの子どもを尊重する保育園」を掲げて、発達過程や生活環境の違い、個人差などを個性として受け入れている。そして、子どもが悲しい思いをするような言葉かけはしない、他の人の前でできないことを指摘しない、子どもの名前を呼び捨てにしないなどを確認し合っている。園児の誕生日には、紙や粘土で手作りしたケーキを用意して、クラスでお祝いをしている。保育室の入口などに写真を飾り、「お誕生日バッチ」を付けて、「おめでとう」と祝福の言葉をかけてもらっている。</p> <p>子どもや保護者の価値観や生活習慣に、配慮して対応している 保護者の事情や考え方などを良く聴き、配慮して対応している。保護者の価値観や事情をよく聴き、柔軟に対応している。医療機関への受診や専門機関に通してから登園する場合も受けているが、予防接種後の登園の場合には、接種後30分以上は様子を観てから登園してもらっている。</p>			

サブカテゴリー6

6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	11/11
<p>評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている</p> <p style="text-align: right;">評点(000)</p>			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
<p>評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている</p> <p style="text-align: right;">評点(000)</p>			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
<p>評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している</p> <p style="text-align: right;">評点(00000)</p>			
評価		標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当	

サブカテゴリ6の講評

区立園共通のマニュアルや園独自の「危機管理マニュアル」等を整備している

区立保育園共通の「危機管理マニュアル」等が整備されている。園独自の「危機管理マニュアル」として、防犯対策、朝夕保育、延長保育、土曜保育の対応、避難訓練、事故発生対応、アレルギー対応のマニュアルを作成している。そのほか、「職員マニュアル」を作成し、当番の仕事、朝夕パートの仕事、頭じらみの対応、電話対応、園庭遊具の約束などさまざまな手順書を綴じて、職員一人ひとりに配布しており、必要な時に確認することができるようにしている。

マニュアル類は半期や年度末、あるいは必要に応じて随時、見直しをしている

半期の反省時には園作成のマニュアル類の見直しを行っている。また、仕事内容と実態とのずれに気が付いた時や見直す必要が生じた場合には、随時、提案して見直している。例えば、朝夕パートの仕事内容では、退職や新規採用などでパート職員に変更や増員があった場合や子どもが成長したり人数が増減したりして、見直しの必要が生じた場合などである。年度後半には年間反省をして、新年度に向けて改正したりしている。

子どもの安全に配慮して毎週土曜日に安全点検を実施している

毎週土曜日に安全点検を実施している。園庭では、固定遊具、園庭のロープ類、可動遊具について点検し、砂おこしを実施している。園舎内ではホールと特別室の玩具消毒や壊れたものがないか点検するなどして、点検表に記入している。また、ヒヤリハット報告は毎日のミーティング時に行い、危険と感じたことなどを報告し、打ち合わせノートに記録している。今年度これまでの事故報告は6件あり、転んで手をつかず顔を打撲、口腔内を怪我などが記載されている。また、区の安全パトロール隊からサスマタの使い方指導を受けている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サブカテゴリ4

サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		
		評点(○○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当
評価項目1の講評		
<p>子どもが自分で選んで好きな遊びができるような保育室の環境作りをしている</p> <p>乳児組の保育室は、玩具棚や手作りパーティーなど、食事や遊びのスペースを区切り、落ち着いて過ごせる環境作りをしている。遊びのスペースには、子どもの発達に応じた玩具類を用意し、ままごとや絵本、木製積み木などの構成遊び、ゲームやパズルなどの机上遊びなどの遊びごとのコーナーに分けて、子どもが自分で選んで好きな遊びができるようにしている。特別室でも、自由に出し入れができるような玩具棚を設置し玩具や教材を用意している。各クラスでは、月ごとに子どもの興味や関心に合わせてゲームや絵本の入れ替えをしている。</p> <p>週1回異年齢でリズムに取り組んでいる</p> <p>縦割り保育の日と決めてはいないが、週1回、異年齢で一緒にリズムをしている。各年齢で動いたり、一緒に「きょうだい雀」などをして、運動会に向けて取り組んでいる。散歩も、担任同士が相談し合っ、他のクラスと一緒にいたりしている。また、5歳児が取り組んだお店屋さんごっこの時には、リズムでペアになっている4歳児が3歳児を連れて買い物に行っている。兄弟で入園しているケースも多く、園庭遊びの時には、年下の子どもに靴下や靴を履かせてあげるなど、面倒を見ている姿が良く見られている。</p> <p>小学校と連携して、円滑な接続に向けたさまざまな取り組みを進めている</p> <p>幼稚園・保育園・小学校の連携に力を入れている。6月頃には5歳児が小学校の中休みの時間に遊びに行き、5年生が、サッカーや鉄棒などの遊びをリードしてくれている。3時間目の授業の見学などもしている。夏には、小学校1年生の担任が園の見学に来て、幼稚園からの見学者も含めて一緒に、「入学して子どもが戸惑わないようにする」を視点を話し合いをしている。そのほか、小学校の運動会や学会の招待状をもらって、交流に努めている。園の卒園式には小学校の校長先生や児童館長を来賓として招待している。</p>		
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		
		評点(○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康観察をし、保護者に子どもの様子を聴いている

登園時には、子どもの顔色や機嫌などを健康観察し、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている。子どもの体調などの大事なことは、登園時に口頭で伝えてもらうようになっている。保護者に確認をした子どもの様子や連絡事項などは、各クラスの「朝夕保育記録」に記入している。「朝夕保育記録」は保育をする部屋に置いて、「昨日ひげ怪我、様子を覗いてください」などと、申し送り内容を記録している。また、乳児組は複写式の連絡帳を使用して日中の様子を伝え、幼児組は園から配布したノートの連絡帳に体調などの個別に伝える必要がある事柄を記入している。

休息(昼寝を含む)は子どもの状況により配慮している

昼寝の時には、下着を脱いで上半身は1枚で布団に入り、起きてから下着を着用している。脱いだ下着は布団の側に置いておき、避難の時など備えている。1・2・3歳児は食事が終わった子どもから順に布団に向かい、12時過ぎか12時30分頃から15時頃まで昼寝している。4・5歳児は食事後静かな遊びをした後で、13時ごろに布団に横になっている。5歳児の午睡については、布団で横になり休息する時間を作ることにしているが、眠れない子どもは早めに起きて遊ばせることなどを検討している。

お迎えの時には日中の子どもの様子を保護者一人ひとりに伝えている

お迎えの時には、保護者に連絡帳を手渡ししながら、日中の子どもの様子や連絡事項を一人ひとりに伝えている。できるだけ担任が夕保育の18時30分まで入り、子どもの様子などを伝えられるようになっている。担任は、各クラスの「朝夕保育の記録」に連絡してもらいたい内容を記録し、口頭でも当番保育士に引き継ぎをして、連絡事項の漏れ防止に努めている。お迎えの保護者には、挨拶の他に子どもの様子を一言でも伝えるようになっているが、子どものお迎えが重なってしまった場合などには、十分伝えられないこともある。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようになっている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもが自分で好きな遊びで、じっくり遊べる場所や時間を確保している

園庭も室内も、子どもが自分で遊びたいことを見つけて、じっくり遊べるように環境設定を心掛け、遊びごとのコーナー作りをして、その場で遊べるようになっている。登園後は、10時頃まで、自分で見つけた遊びたい遊びや名札を付けて置いておいた昨日の遊びの続きなどで、遊んでいる。その後、5歳児クラスでは集まりの会をしているが、子どもの遊びの状況により、遊びの区切りついでから集まるなど、子どもが自分で好きな遊びや自由な遊びができる時間を多めにとるように、配慮している。

リズムで身体を動かし、歌や合奏、絵画や製作など、表現活動に取り組んでいる

幼児組では週1回、リズムを取り入れている。各クラスで動いて身体の動かし方を見合ったり、異年齢で取り組んだりしている。絵を描いたり、こいのぼり、アジサイ、七夕など季節に合わせた製作物やお店屋ごっここの品物製作などもしている。リリアンのマフラー編みにも挑戦している。楽器あそびは1歳児から鍵盤ハーモニカに合わせて木琴や太鼓などで遊んでいる。年4回のおたのしみ会では、歌ったり、合奏を披露したりしている。そのほか、芋ほりをした芋で芋版作りもしている。

草や木の実、土、泥など園庭の自然物で遊び、自然の変化を感じるようになっている

近隣に公園が点在している地域であり、週1回程度散歩に出かけて、身体を動かしたり、自然に触れたりして遊んでいる。園庭にも、樹木や果樹などがあり、木の葉や木の実などで遊び、ままごと遊びに使うように雑草やクローバー、シロツメクサ、あさがおなども植えている。庭には硬めの土や軟かめの土、どろどろの土などの場所があり、泥団子作りなどで遊んでいる。5歳児がカメの飼育をして、冬眠前に4歳児に飼育の仕方を引き継いでいる。春には冬眠から覚めたカメを新5歳児が張り切って世話をしている。

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

参加して楽しむ行事や子どもたちが相談して、意欲的に取り組む行事を実施している

年4回お楽しみ会を実施して、9月には全クラスで歌を歌ったり手遊びをし、12月には職員劇を見たり、子どもたちの楽器演奏や手遊びなどで楽しんでいる。また、11月の焼き芋会の時には、5歳児がお店屋ごっこを実施している。どんなお店で何を売りたいのか、11月から皆で話し合い、品物を製作し、看板やチケットも準備して、チョコバナナ、綿あめ、ジュース、かき氷、けん玉、キーホルダー、アクセサリ屋を開いている。当日は店のスタッフと客の二役をこなし、他のクラスのお客さんの呼び込みや品物の受け渡しも張り切って取り組んでいる。

子どもたちの思いを大事にして話し合い、やり遂げる喜びを感じられる行事にしている

誕生日会はクラスで行っており、祝い方はクラスによりさまざまである。ホームパーティーごっこが好きな4歳児では、ままごとごっこのピザなどを用意し、テーブルを繋げて並べ、皆で誕生日パーティーを楽しんでいる。子どもの日や運動会などの行事では、何をしたいか子どもたちと話し合いながら取り組んでいる。5歳児では「前の年長組がやっていたのと同じのをやりたい」と言う意見が出て、鯉のぼり作りでは染め物をし、運動会ではソーラン節を踊り、初めの言葉や体操のお兄さんなどの役割を果たすなどして、やり遂げる喜びを味わっている。

行事の日程を早めに知らせ、取り組んでいる子どもの様子を伝えている

年度始めに、年間行事予定表を配布して知らせ、保護者会では、保護者関係の行事日程を伝えている。行事に向けて子どもたちが取り組んでいる様子を、貼り出し日誌やクラスだより、写真掲示などで知らせて、楽しみにしてもらえるようにしている。保護者参加行事の運動会には、ご案内(プログラム)の他に、運動会の見どころ特集なども発行している。幼児クラスでは、2回目の保護者会には懇談の後、保護者と子どもと一緒に遊ぶ企画をして、親子が触れ合う機会にしている。

5 評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

疲れた時など身体を休める布団を用意したり、遊び毎のエリアで遊ぶようにしている

朝保育は1・2歳児合同で過ごし、幼児クラスは特別室と一緒に過ごしている。夕保育では、1・2歳児は各保育室で、3歳児は特別室で、4・5歳児はホールと一緒に過ごしている。部屋には緑の植木鉢を置き、乳児の部屋では、疲れた時などに横になるなどして休めるように、遊び用の布団なども用意している。ホールや特別室などの広い部屋では、じゅうたんなどで遊び毎のエリアを作り、落ち着いて遊べるようにしている。

できるだけ慣れた部屋で安心できる大人と過ごせるようにしている

朝夕保育の当番はできるだけ担任が入るようにしており、パートの職員もいつも同じにして、子どもたちが慣れた部屋で安心できる大人と過ごせるようにしている。担任以外の保育士が当番に入る場合は、引き継ぎを確実にやっている。幼児クラスの子供たちは、ゲームやコマ遊び、積み木などの構成遊びでよく遊んでいる。延長保育で利用している特別室は、アコーディオンカーテンやパーティーションなどで仕切って、乳児・幼児のエリアに分けて、子どもが落ち着いて遊べるようにもしている。

延長保育では自然な異年齢交流の場になっている

延長保育はスポット保育の子どもも含めて、日々16~17名程が利用しており、異年齢合同保育にしている。1歳児と遊べることを楽しみにしている年長児もいて、手をつないであげたり、カバンを届けてあげたり、一緒に遊んだりして面倒を見てあげようとする姿や、兄弟と一緒に遊んでいることもあるなど、自然な異年齢の交流の場になっている。延長保育の当番保育士は毎日変わるが、パートの職員は延長児が多いクラスに配置して、変わらずに観ているので、子どもたちは安心して過ごすことができている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

決まった座席で落ち着いて、友達と楽しく会話をしながら食事をしている

子どもの背丈に合った椅子やテーブルで、子どもの座席を決めて、いつも同じ友達と一緒に食べている。乳児は担当する保育士も決めて、安心して食べられるようにしている。会話をしたりしながら楽しく食事ができるようにして、なるべく家庭に近い雰囲気の中で食事することを大切にしている。七夕などの行事には、行事食を提供し、ランチ皿に盛り付けるなどして、給食を楽しめるようにしている。

区立園共通の献立で、栄養バランスのとれた給食を園で手作りしている

献立は栄養士が職員の意見を参考にして作成した区立園共通のもので、栄養バランスのとれた給食を委託業者の職員が園で手作りしている。旬の食材を使って、昆布やかつおぶし、煮干などで出汁をとり、自然のおいしさを味わえるようにしている。食の安全性についても留意し、給食の実物展示や食材産地の掲示もしている。毎日開催しているミーティングには調理職員も参加して、今日の子どもの喫食状況や食物アレルギーの確認をしている。食物アレルギー児には、食物除去申込書を提出してもらい、除去食や代替食で対応している。

園庭の畑などで野菜を栽培し、採れたてを食べ、食材の下処理や調理の経験をしている

園庭の畑やプランターを利用して、野菜を栽培し、5歳児がとうもろこしやスイカ、トマト、4歳児はかぼちゃ、きゅうり、じゃがいも、3歳児が枝豆やオクラを育てている。収穫した野菜は調理室で調理してもらい、茹でとうもろこしにして食べたり、スイカを子どもの目の前で切ってもらっている。食材の下処理として、そら豆などの豆類のさやむきなどを幼児がしている。焼き芋会の時には、5歳児がさつまいも洗いとホイル巻をしている。ラップおにぎり作りは幼児組、5歳児はパンにクリームをサンドして食べたりもしている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

子どもが自分の身体や健康に関心をもち危険から身を守るように、援助している

年間保健計画を作成して、看護師は、子どもが自分の身体の仕組みを知り健康に関心をもつように、模型や紙芝居などを使用して、わかりやすく身体の話をしている。手洗いやうがい、歯磨きの指導もしている。保育の中では、危険な遊び方や場所などをその都度知らせている。散歩の時には、道路の歩き方や横断歩道の渡り方などの交通ルールを知らせたり、公園での遊び方を伝え、危険な場所には近づかないことなども伝えている。室内では、靴下をはいたまま走ると滑って危険であることなどを子どもにわかるように、その場で知らせている。

医療機関や専門機関と連携している

集団生活での援助の仕方について主治医に聴く必要がある場合には、保護者の同意を得て、受診に同行したり、保護者から主治医に話してもらい、園に伝えてもらうこともある。また、園医の小児科医は年2回定期健康診断に来園し、歯科医も年1回歯科健診で来園している。幼児クラスは、年1回の耳鼻科・眼科の健診を受けている。障がい認定児の月1回の健診や療育機関などからの訪問支援も受けている。

子どもの健康維持に向けた情報などを保護者に提供している

区や保健所などから提供される子どもの健康に関するポスターやチラシなどを掲示して、保護者に知らせている。園で感染症が発生した場合は、病名、主な症状、潜伏期間、必要な対策などを、玄関ホールと各クラス、階段の踊り場に掲示して、注意喚起をしている。毎月保健だよりを発行して、感染症情報、登園前の健康観察、靴について、食中毒を防ぐ、歯磨き、熱中症対策など、子どもの健康管理に関する情報を掲載して知らせている。また、パート職員も含めた職員を対象に、嘔吐の処理の仕方について、毎年、看護師が指導している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者会の後で保護者同士の交流の場として「ティータイム」を設けている

保護者会は年2回、13時30分から15時で実施している。子どもたちの午後のおやつが終わるまで待ってもらい、一緒に帰宅している。その時間を利用して、「ティータイム」として保護者にお茶やコーヒー・紅茶などの飲み物を提供して、和やかな雰囲気では話ができる時間になっている。雑談の中で保護者同士の交流が持てるように、園長と看護師が、話の仲立ちになりながらすすめているが、時には質問に答えたり要望をうけたりもしている。

園での子どもの様子を伝え、保護者と子どもの成長の喜びを共有している

送迎時の保護者とのコミュニケーションを大切にしている。夕保育では、18時30分まで、できるだけ担任が当番に入り、保護者に子どもの様子を伝えるようにし、連絡帳は全園児が使用している。保護者会では、子どもの遊んでいる様子や生活の様子を写真で見てもらっている。年1回の個人面談でも子どもの様子について話しをし、2回目の保護者会では、子どもの成長が分かるように伝えている。職員は毎日のミーティングで、子どもに関する情報を共有して、保護者との会話の機会に活用している。

保護者会や個人面談で子どもに関する情報を園と保護者と共有している

保護者会や個人面談には、ほとんどの保護者に参加してもらえ、子どもに関する情報の共有ができています。しかし、保育参観・参加は、期間や日程を決めずに、随時受け付けにして、行事予定表に掲載し、保護者会に伝えているが、参加しない保護者も多い。一方、参加して、個人面談をしている保護者や、毎年参観・参加をしている保護者もいる。より一層、園の保育を知ってもらうために、保護者に参加してもらい、模索している。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の施設や取り組みなどに参加してさまざまな経験をしている</p> <p>併設の児童館や高齢者向け施設(ゆうゆう館)とは合同避難訓練を実施している。年1回、高齢者向け施設の行事に招待して貰い、一緒にはないちもんで遊んだり、フラダンスを見せてもらったり、園児の踊り「ソーラン節」を見てもらったりしている。年1回、5歳児が学童クラブの見学に行っている。区が実施している農園活動に参加して、畑でじゃがいも掘りやさつまいもの植え付けや収穫を経験させてもらっている。地域の図書館では絵本を読んだり借りたりしている。地域の公園のひまわりの種まきに参加し、菜の花の種をもらいに行っている。</p> <p>例年は、運動会への地域住民の参加は多く、30名程になっている</p> <p>子どもたちが作成して運動会のポスターは小学校、児童館、園医の医院などに掲示してもらっている。園の外フェンスや園内にも貼り出している。運動会への参加は、例年は、園児以外でも200名程の参加があるうち、地域の人々の参加は30名ほどであった。今年は雨天により小学校の体育館で実施したために、地域住民の参加は少数であった。そのほかに、清掃事務所の「ごみパッケン」の環境学習を受け、近隣園の5歳児も参加して交流している。</p> <p>子育て支援事業「あそぼう会」では、園庭遊具や室内の手作り玩具などで遊んでいる</p> <p>園の子育て支援事業「あそぼう会」は年間7回実施している。担当は看護師と主査、保育士1名にしている。特別室で、希望者には身体測定を実施し、園庭の遊具で遊んだり、室内で年齢にあったおもちゃや手作りおもちゃで遊び、家庭での悩みや子育ての様子を聴いたりしている。育児相談には育児中の保護者も参加している。9・10・11月の参加者は毎回20名前後あり、その時に園内見学をセットして、案内したり説明したりしている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	特別な配慮が必要な子どももクラスの仲間と一緒に成長できるように援助している	
内容①	障害児指定園であり、特別な配慮が必要な認定児が在籍し、月1回の認定児の健診、年5回の医師による巡回指導、年6回の心理職による巡回相談が行われている。専門家のアドバイスは、参加できる職員皆で聴いている。特別な配慮が必要な子どもも他の子どもとの生活を通して一緒に成長できるよう、援助に必要な大人を配置し、職員間で連携して保育しながら、その子がクラスの一員であることが当たり前であり、できないことがあってもそれがその子の個性として受け入れられることを、保育者の援助を通して子どもたちに伝えるようにしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	自然豊かな園庭で、身体を動かしたり、好きな遊びをしたりして遊んでいる	
内容②	園庭は広めで、みずきやかくれみのなどの樹木があり、枇杷やりんご、柿、みかんなどの果樹も植えている。落ち葉や木の実で遊んだり、雑草を使ってままごと遊びができるようにしている。泥団子作りができる土山を用意している。また、子どもが自分で使って遊べるように、マルチパーツやタイヤなどの可動遊具を子どもが使える場所に設置している。また、木の家や手作りテーブル、ベンチなどを使って思い思いに自由に遊んでいる。固定遊具では登り棒や滑り台、鉄棒のほか、ロープブランコやスーパースターネットも用意して、遊べるようにしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる
タイトル③	園内研修などを通して、意思疎通を図り、チームワーク力を高めている	
内容③	今年度、正規職員の3分の1が入れ替わったが、職員会議で振り返りを行い、保育の話をし、職員間の意思疎通を丁寧に行った。さらに園内研修などを通して、保育の振り返りや情報共有を密に図った。また、保育士、看護師、栄養士、パート職員、アルバイト職員という職種や形態が違う職員とのコミュニケーションに努め、チームワークを高めている。職員アンケートでも「保育について相談したり話しやすい雰囲気がある」などのコメントが寄せられていた。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	築40年以上の施設であるが、清潔で、子どもが落ち着き、遊びやすい環境作りをしている
	内容	平成25年10月の障害児指定園への移行に伴い、1～5歳児の園に変更になり、一部の保育室やトイレの改修が行われた。2階の1・2歳児室は、遊びや生活のスペースを、手作り玩具棚や衝立で区切り、遊びやすく生活しやすいように工夫している。1階の特別室はトイレが隣接し、さまざまな玩具類を数か所のコーナーに分け、少人数の遊び、リソースルーム、子育て支援事業、朝夕・延長保育で使用している。園全体に植物などを置き、清潔で心和む環境になっている。保護者の総合的満足度は大変満足76%、満足22%と非常に高くなっている。
2	タイトル	子どもの食への関心を高め、野菜栽培や収穫などさまざまな食育の取り組みに力を入れている
	内容	子どもたちは園庭の畑などで野菜の栽培をして、収穫の喜びを経験し、園で調理してもらい採れたての野菜を食べている。区が実施している農園活動に申し込み、じゃがいも掘りやさつまいもの苗植え、収穫を体験して、焼き芋会を実施している。防災用のアルファ米の作り方をみせてもらい、通常のご飯との食べ比べをしている。また、栄養士は食事のマナーや栄養について知らせ、豆つかみ遊びなどをしながら箸の使い方を知らせている。季節の食材の紹介もしている。保護者には、給食試食会を開催して、保育園の給食を知ってもらうようにしている。
3	タイトル	子どもが遊びたくなる保育環境作りに向けて、職員プロジェクトチームで検討している
	内容	魅力ある保育環境作りを目指して、職員のプロジェクトチームを組み、園庭、特別室、ホールについて、検討して実践に繋げている。園庭では、全身運動ができ、五感で感じられ、異年齢で関わられる園庭を目指して検討し、可動遊具の片づけ場所を変更したり、ロープを使った遊びなどを提案し、実践している。特別室では、乳児・幼児も含めて使いやすい、遊びやすい部屋を目指して、さまざまな年齢に対応できる玩具を棚に用意して、遊びのコーナー作りを充実させている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者との共育をよりいっそう進めるために、保育の計画を伝える取り組みの工夫を期待する
	内容	園の玄関ホールには、保育目標を掲示するほか、重要事項説明書や各クラスだより、月のクラスの保育のねらいを掲示している。年間のクラス目標や年齢発達の子どもの姿を保護者会で資料を基に説明している。1・2歳児クラスでは今週の活動予定を掲示して知らせている。今後は、これまで以上に保護者との共育を進めるために、月案や週案などの保育の計画を保護者に知らせる取り組みの工夫を期待する。
2	タイトル	ヒヤリハット報告用紙を作成し、集約分析し、職員のリスク意識を高めることを期待する
	内容	ヒヤリハット報告は毎日開催しているミーティングで、散歩先で危険と感じたことなどを報告し、打ち合わせノートに記載し、職員間で共有している。今後は、さらに、ヒヤリハット報告用紙を作成して、ヒヤリ・ハットした経験をリスク管理に生かすことに期待したい。報告書を集約・分析することで、事故予防や職員のリスク意識を高めることに役立つことが期待できると思われる。
3	タイトル	保育参観・参加に、より多くの保護者に参加してもらえるような工夫を期待する
	内容	保護者会や個人面談への保護者の参加は多い。保育の内容を直接見てもらえることができる保育参観・参加は、忙しい保護者に配慮して、随時受け付けにしているが、参加者が多くない状況である。今後は、保育参観・参加の魅力伝えるなどして、より多くの保護者に参加してもらえるような工夫を期待する。